

卒業生等による大学教育評価報告書  
-教育内容の改善・向上を目指して-  
(令和元年度実施)

令和2年7月

香川大学

# 目次

## 第1章 卒業生等による大学教育評価アンケート調査の概要

### <卒業生によるアンケート調査>

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 調査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4. 調査内容・方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### <企業等アンケート調査>

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 調査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4. 調査内容・方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

### <調査資料>

- 1. 令和元年度実施香川大学卒業生及び企業等アンケート用紙・・・ 3

## 第2章 調査結果について

### <卒業生によるアンケート調査>

- 1. 全学的な視点からの分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- 2. 学部に関する分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
  - 教育学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
  - 法学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
  - 経済学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
  - 医学部医学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
    - 看護学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
  - 創造工学部（工学部）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
  - 農学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

### <企業等アンケート調査>

- 1. 全学的な視点からの分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

## 第1章 卒業生等による大学教育評価アンケート調査の概要

### ＜卒業生によるアンケート調査＞

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することにより、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 令和元年12月26日（木）～令和2年1月31日（金）  
※Web 締め切り：2月3日分まで受け付けた。  
※郵便締め切り：2月3日到着分まで受け付けた。  
本アンケートは、従来、隔年度（中期目標・計画期間の1年目、3年目、5年目）で実施しており、4年目である令和元年度は本来の実施年度ではないが、令和2年度に実施される国立大学法人評価の4年目終了時評価に最新の情報を反映できるようにするため実施したものである。
3. 調査対象 本学卒業後3年目（H28）及び4年目（H27）の卒業生2,475人  
回答数は367人、回収率14.8%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、平成28、30年度に実施している「卒業生及び卒業生の就職先企業等に対するアンケート調査」の質問項目と同様のものである。  
アンケート調査は、学務グループが中心となり、卒業生の在学中の保証人住所へアンケートに回答してもらうように文書で依頼した。回答方法は、Webによる回答と郵送による回答を実施した。  
Webによる回答については、Google フォームを使用し、短縮した Web サイトの URL と QR コードを依頼文書に記載した。

### ＜企業等アンケート調査＞

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することで、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 令和元年12月18日（水）～令和2年1月31日（金）  
※FAX 締め切り：2月5日到着分まで受け付けた。  
本アンケートは、従来、隔年度（中期目標・計画期間の1年目、3年目、5年目）で実施しており、4年目である令和元年度は本来の実施年度ではないが、令和2年度に実施される国立大学法人評価の4年目終了時評価に最新の情報を反映できるようにするため実施したものである。
3. 調査対象 平成27年度～28年度に卒業した学生の就職先（卒業時に学生から申し出があった就職先）1,197機関  
回答数は307機関、回収率は25.6%

4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、平成 28、30 年度に実施している「卒業生及び卒業生の就職先企業等に対するアンケート調査」の質問項目と同様のものである。
- また、アンケート調査は学生の就職先の住所宛にアンケートに回答してもらうように文書で依頼した。アンケート様式は Google フォームで作成し、その URL を知らせ、Web で回答してもらうこととし、セキュリティ等でアクセスできない場合は、FAX 等で回答してもらった。



問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
<b>幅広い知識や教養</b>						
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

V. 専門教育についてお尋ねします。

問 9. あなたは以下の専門科目について、どの程度満足していましたか。また現在の仕事の中でどの程度役立っていますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				現在の仕事に			
	満足 だった	ある程度 満足 だった	やや不満 だった	不満 だった	役立って いる	ある程度 役立って いる	あまり 役立って いない	役立って いない
学校教育基礎研究(課程共通) 教職の意義や児童生徒の発達理解等	4	3	2	1	4	3	2	1
学校教育実践研究 教科研究, 学生生活研究や教育実習等	4	3	2	1	4	3	2	1
学校教育発展研究 専門領域選択科目や卒業研究等	4	3	2	1	4	3	2	1

問 10. あなたが在学中もっと勉強しておけば良かったと思う専門科目はどれですか。以下の中から当てはまるもの全てに○をつけてください。

学校教育基礎研究(課程共通)

- |                |                     |                   |
|----------------|---------------------|-------------------|
| 1. 教職概論        | 2. 教育原論             | 3. 学校教育心理学・児童心理学等 |
| 4. 教育社会学・教育統計学 | 5. 学校教育課程論・教育の方法と技術 |                   |

学校教育実践研究

- 教科研究 (学校基礎・教科教育コースは初等教科科目と初等教科教育法、幼児教育コースは幼・初等教科科目と保育内容の指導法、特別支援教育コースは特別支援教育に関する科目)
- 学校生活研究 (道徳教育論・特別活動論・生徒指導論・学校教育相談学)
- 教育実地研究 (教育実習・教育実践演習・教職実践演習等)

学校教育発展研究

- |              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| 1. 各専門領域選択科目 | 2. 自由科目 | 3. 卒業研究 |
|--------------|---------|---------|

問 11. 学部開設科目でもっと勉強すべきだったと思う科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 12. 在学中に勉強した専門科目で、現在役立っていると実感している科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 13. 教育学部に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	やや不満だった	不満だった
教員の教授方法	4	3	2	1
教育実習など現場実習の充実	4	3	2	1
少人数によるゼミ形式の授業	4	3	2	1
勉学や進路等の相談で教員と接する機会	4	3	2	1
講義室の学習環境	4	3	2	1
自学自習のための施設	4	3	2	1

問 14. 総合的にみて、教育学部で学んだことについて満足していますか。また、その理由をお書きください。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. あまり満足していない    1. 満足していない

理由： [  ]

問 15. 教育学部のカリキュラム等について、自由にご意見をお書きください。

(良かった点、不満だった点、引き続き維持すべき点、改善すべき点や、教育学部がもっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組み、新たに設けるべき授業科目、要望など)

ご協力大変ありがとうございました。



令和元年度実施 香川大学卒業生調査【教育学部（人間発達環境課程）】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男 2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問4へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている（派遣社員、アルバイト等を含む） →問4へお進みください。  
 3. 働いていない →問6へお進みください。

問4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係 2. 建設・機械関係 3. 食品・化学関係 4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係 6. 販売・サービス関係 7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係 9. 公務員（国・地方自治体） 10. 教育関係 11. その他

問5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している 2. ある程度満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

問6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある（転職・離職の時期： )  
 （理由： )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 （理由： )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業（授業時間中）	4	3	2	1
授業と関係ある学習（予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など）	4	3	2	1
将来を見据えた学習（資格取得（国家試験を含む）に向けた学習など）	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動（夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など）	4	3	2	1
インターンシップ（体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む）	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
<b>幅広い知識や教養</b>						
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

**IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。**

V. 専門教育についてお尋ねします。

問 9. あなたは以下の専門科目について、どの程度満足していましたか。また現在の仕事の中でどの程度役立っていますか。それぞれお答えください。

	専門科目に				現在の仕事に			
	満足 だった	ある程度 満足 だった	やや不満 だった	不満 だった	役立って いる	ある程度 役立って いる	あまり 役立って いない	役立って いない
基礎研究 発達と環境(課程共通)や基礎科目	4	3	2	1	4	3	2	1
実践研究 各コースの実践研究 I・II (インターンシップ)	4	3	2	1	4	3	2	1
発展研究 各コースの選択科目・特別演習・卒業研究	4	3	2	1	4	3	2	1

問 10. あなたが在学中もっと勉強しておけば良かったと思う専門科目はどれですか。以下の中から当てはまるもの全てに○をつけてください。

基礎研究

1. 発達と環境 (課程共通: 生涯発達心理学、コミュニケーション論、人間環境学 I・II、国際社会論、多文化共生論)
2. 基礎科目 (発達臨床の基礎、人間環境教育の基礎、国際理解教育の基礎)

実践研究

1. 各コースの実践研究 I・II (インターンシップ)

発展研究

1. 各コースの選択科目
2. 特別演習(ゼミ)
3. 自由科目
4. 卒業研究

問 11. 学部開設科目でもっと勉強すべきだったと思う科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 12. 在学中に勉強した専門科目で、現在役立っていると実感している科目を最大で3つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 13. 教育学部に在学中、以下の事柄についてどの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	やや不満だった	不満だった
教員の教授方法	4	3	2	1
教育実習など現場実習の充実	4	3	2	1
少人数によるゼミ形式の授業	4	3	2	1
勉学や進路等の相談で教員と接する機会	4	3	2	1
講義室の学習環境	4	3	2	1
自学自習のための施設	4	3	2	1

問 14. 総合的にみて、教育学部で学んだことについて満足していますか。また、その理由をお書きください。

4. 満足している 3. ある程度満足している 2. あまり満足していない 1. 満足していない

理由： [ ]

問 15. 教育学部のカリキュラム等について、自由にご意見をお書きください。

(良かった点、不満だった点、引き続き維持すべき点、改善すべき点や、教育学部がもっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組み、新たに設けるべき授業科目、要望など)

ご協力大変ありがとうございました。

令和元年度実施 香川大学卒業生調査【法学部】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問4へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問4へお進みください。  
 3. 働いていない →問6へお進みください。

問4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
<b>幅広い知識や教養</b>						
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

**IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。**

## V. 専門教育についてお尋ねします。

問9. 法学部に在学中、以下の事柄について、どの程度満足していましたか。

	満足していた	ある程度満足していた	やや不満だった	不満だった
法学部教員の授業への取組み（熱意など）	4	3	2	1
法学部教員の教授方法	4	3	2	1
授業の内容	4	3	2	1
少人数によるゼミ形式の授業（演習など）	4	3	2	1
法学部のカリキュラム全体について	4	3	2	1
勉学や進路等の相談で法学部教員と接する機会	4	3	2	1
法学部講義室の学習環境	4	3	2	1
法学部資料室の施設（蔵書、情報機器等）	4	3	2	1

問10. 以下に示すような法学部の各開講科目群は、これまでの職業生活に役立っていますか。また、社会生活全般ではどうですか。それぞれお答えください。

	これまでの職業生活に				社会生活全般に			
	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
基礎ゼミ（1年次後期科目）	4	3	2	1	4	3	2	1
プロゼミ（2年次科目）	4	3	2	1	4	3	2	1
演習（3年～4年次必修科目）	4	3	2	1	4	3	2	1
基礎法系科目（法制史、法哲学、法社会学等）	4	3	2	1	4	3	2	1
公法系科目（憲法、行政法、税法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
民法系科目（民法、商法、民事訴訟法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
刑事法系科目（刑法、刑事訴訟法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
社会法系科目（労働法、社会保障法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
経済法系科目（経済法、経済政策と法等）	4	3	2	1	4	3	2	1
政治系科目（政治過程論、公共選択論、行政学等）	4	3	2	1	4	3	2	1
国際系科目（国際法、国際私法、国際関係論等）	4	3	2	1	4	3	2	1
実務家による科目（損害保険の実務と法等）	4	3	2	1	4	3	2	1

問11. 以下に示すさまざまな能力は、法学部の専門教育を通じてどの程度身につきましたか。

	身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない
法律・法律学に関する知識	4	3	2	1
政治・政治学に関する知識	4	3	2	1
経済活動に関する知識や関心	4	3	2	1
社会一般に関する知識や関心	4	3	2	1
現代社会への自分なりの視点	4	3	2	1
歴史的視点	4	3	2	1
幅広い視野	4	3	2	1
国際的視野	4	3	2	1
情報を収集・処理する力	4	3	2	1
問題を発見し解決する力	4	3	2	1
論理的に考える力	4	3	2	1
法的なものの考え方（リーガル・マインド）	4	3	2	1
人前で報告する技能	4	3	2	1
他者と意見を交わす技能	4	3	2	1
論点を整理し、議論をまとめる技能	4	3	2	1
文書等を作成する技能	4	3	2	1
自主的に学び続ける力	4	3	2	1

問 1 2. 問 1 1 に列挙した能力は、仕事を進める上でどの程度必要とされますか。また、社会生活全般ではどうですか。それぞれお答えください。

	仕事進める上で				社会生活全般で			
	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない
法律・法律学に関する知識	4	3	2	1	4	3	2	1
政治・政治学に関する知識	4	3	2	1	4	3	2	1
経済活動に関する知識や関心	4	3	2	1	4	3	2	1
社会一般に関する知識や関心	4	3	2	1	4	3	2	1
現代社会への自分なりの視点	4	3	2	1	4	3	2	1
歴史的視点	4	3	2	1	4	3	2	1
幅広い視野	4	3	2	1	4	3	2	1
国際的視野	4	3	2	1	4	3	2	1
情報を収集・処理する力	4	3	2	1	4	3	2	1
問題を発見し解決する力	4	3	2	1	4	3	2	1
論理的に考える力	4	3	2	1	4	3	2	1
法的なものへの考え方（リガルマインド）	4	3	2	1	4	3	2	1
人前で報告する技能	4	3	2	1	4	3	2	1
他者と意見を交わす技能	4	3	2	1	4	3	2	1
論点を整理し、議論をまとめる技能	4	3	2	1	4	3	2	1
文書等を作成する技能	4	3	2	1	4	3	2	1
自主的に学び続ける力	4	3	2	1	4	3	2	1

問 1 3. 受講して有益だったと考える法学部開講科目を最大 3 つまで挙げてください。

( ) ( ) ( )

問 1 4. 在学中にもっと学んでおくべきであったと考える授業科目ないし学問分野を最大 3 つまで挙げてください（法学部の開講科目や法学・政治学等の学問分野に限定する必要は必ずしもありません）。

( ) ( ) ( )

問 1 5. 総合的にみて、法学部で学んだことについての満足度はどうですか。

4. 満足している    3. ある程度満足している    2. やや不満だった    1. 不満だった

問 1 6. 法学部のカリキュラム等について、自由にご意見をお書きください。

（良かった点、不満だった点、引き続き維持すべき点、改善すべき点や、もっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組み、新たに設けるべき授業科目、要望など）

ご協力大変ありがとうございました。



令和元年度実施 香川大学卒業生調査【経済学部】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問4へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問4へお進みください。  
 3. 働いていない →問6へお進みください。

問4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

## V. 専門教育についてお尋ねします。

問9. 以下に示すさまざまな知識や能力は、経済学部専門教育課程を通じて、どの程度、身につきましたか。また、それらは、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
経済についての知識	4	3	2	1	2	1
統計についての知識	4	3	2	1	2	1
金融についての知識	4	3	2	1	2	1
会計についての知識	4	3	2	1	2	1
経営についての知識	4	3	2	1	2	1
商学・マーケティングについての知識	4	3	2	1	2	1
観光についての知識	4	3	2	1	2	1
地域の活性化についての知識	4	3	2	1	2	1
世界各地域の経済についての知識	4	3	2	1	2	1
人類の文化および社会についての幅広い知識	4	3	2	1	2	1
定量的なデータを適切な手法を用いて分析する能力	4	3	2	1	2	1
定性的なデータを適切な手法を用いて分析する能力	4	3	2	1	2	1
複眼的な思考力	4	3	2	1	2	1
チャレンジ精神や行動力	4	3	2	1	2	1
コミュニケーション力	4	3	2	1	2	1
課題探究・解決力	4	3	2	1	2	1

問10. 以下に示す活動を通して身につけた知識や能力、経験は、これまでの職業経験の中で、どの程度、役立っていますか。

	役立っている	どちらかといえば役立っている	どちらかといえば役立っていない	役立っていない
演習・個別演習	4	3	2	1
卒業論文の執筆	4	3	2	1
学生チャレンジ・プロジェクト (参加者のみ回答)	4	3	2	1
専門履修プログラム (参加者のみ回答)	4	3	2	1
実践型/地域インターンシップ (参加者のみ回答)	4	3	2	1
海外研修・留学 (参加者のみ回答)	4	3	2	1

問11. 数年間の社会人生活を経た現在の立場から、大学時代にもっと勉強しておけばよかったと思う分野や科目があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

令和元年度実施 香川大学卒業生調査【医学部（医学科）】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男 2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問4へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問4へお進みください。  
 3. 働いていない →問6へお進みください。

問4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係 2. 建設・機械関係 3. 食品・化学関係 4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係 6. 販売・サービス関係 7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係 9. 公務員 (国・地方自治体) 10. 教育関係 11. その他

問5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している 2. ある程度満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

問6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
<b>幅広い知識や教養</b>						
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

**IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。**

**V. あなた自身についてお尋ねします。**

問 9. あなたの大学入学時の自宅所在地（都道府県名）と、現在の自宅所在地（都道府県名）をお答えください。

入学時：( ) 都・道・府・県 現在：( ) 都・道・府・県

問 10. 現在のあなたの職種・就業状況は次のどれですか。（複数該当する場合は、主要なもの一つに○をつけて下さい。）

1. 臨床医（勤務医）      2. 臨床医（開業医）      3. 研修医（前期・後期）      4. 教育・研究職（大学等の助教以上）  
 5. 非常勤医      6. 大学院生      7. 無職      8. その他（ ）

問 11. と問 12. は、問 10. で、1～6 と回答した方にお聞きます。

問 11. 現在所属している講座または診療科は次のどれですか。

研修医の方は、将来志望する科をお答え下さい。

1. 基礎医学系      2. 内科系      3. 外科系      4. 社会医学系      5. その他（ ）

問 12. 現在の勤務場所は次のどれですか。

1. 大学を含む教育機関(大学附属病院を含む)      2. 病院      3. 診療所      4. 福祉施設      5. その他（ ）

**VI. 在学当時の学習や活動についてお尋ねします。**

問 13. あなたは以下の項目についてどの程度満足していましたか。

医学部の教育について	4. 満足だった				3. ある程度満足だった				2. やや不満だった				1. 不満だった							
	シラバスの充実度(教育内容や評価法などが適切に記載されていたか)				教育法(講義・実習の内容が適切に行われたか)				学習法(授業ガイダンスなど科目ごとに学習法についての説明が当該科目の教員からあったか)				カリキュラム(講義や実習の進度、スケジュールやボリュームが適切であったか)				評価法(出席・レポート・試験等)が適切で、シラバスに記載された通りに行われたか)			
教養科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
基礎医学系科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
社会医学系科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
臨床医学系科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
外国語科目	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
医学部での学習・生活支援																				
	満足だった				ある程度満足だった				やや不満だった				不満だった							
授業以外で教員と接する機会	4				3				2				1							
指導教員制度	4				3				2				1							
図書館の施設や蔵書	4				3				2				1							
情報処理関係施設や機器	4				3				2				1							
学生の交流スペース	4				3				2				1							
クラブ・サークル関係施設・設備等	4				3				2				1							
自習室	4				3				2				1							

問14. 以下に示すさまざまな能力は大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。それぞれお答えください。

	大学教育で				現在の仕事で			
	身についた	ある程度身についた	あまり身についていない	身についていない	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない
医学の基礎知識	4	3	2	1	4	3	2	1
医学の基本的技術	4	3	2	1	4	3	2	1
科学的分析力と探究能力	4	3	2	1	4	3	2	1
医学の視点から、問題を総合的に分析・判断・解決する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
自己の実践を批判的に分析し、創造的に発展させる能力	4	3	2	1	4	3	2	1
患者・家族と人間関係を形成する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
医療職者間で協働・連携する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成	4	3	2	1	4	3	2	1
医療人に求められるモラルや礼儀、社会的責任	4	3	2	1	4	3	2	1
専門職業人として生涯自己研鑽する能力	4	3	2	1	4	3	2	1

問15.

国家資格の取得に必要な教育が行われていましたか。	行われていた 4	ある程度行われていた 3	あまり行われていなかった 2	行われていない 1
--------------------------	-------------	-----------------	-------------------	--------------

問16. 国家資格の取得に必要な教育・指導体制として、大学が今後取り入れたら良いと思う事柄について、ご記入下さい。

--

問17.

総合的にみて、本学医学部で学んだことについての満足度はどうですか。	満足している 4	ある程度満足している 3	やや不満だった 2	不満だった 1
-----------------------------------	-------------	-----------------	--------------	------------

ご協力大変ありがとうございました。





問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
<b>幅広い知識や教養</b>						
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

**V. あなた自身についてお尋ねします。**

問9. あなたの大学入学時の自宅所在地（都道府県名）と、現在の自宅所在地（都道府県名）をお答えください。

入学時：( ) 都・道・府・県 現在：( ) 都・道・府・県

問10. 現在のあなたの職種は次のどれですか。

1. 看護師                      2. 保健師                      3. 助産師                      4. 養護教諭                      5. 看護教員  
6. 大学院生                      7. 無職                      8. その他 ( )

問11. 現在の勤務場所は次のどれですか。

1. 大学を含む看護師教育機関                      2. 大学附属病院                      3. 病院  
4. 診療所                      5. 福祉施設                      6. 地方公共団体（保健所を含む）  
7. 小・中・高校                      8. その他 ( )

問12. 現在の就業状況についてお答えください。（無職の方を除く）

1. 正規雇用で働いている  
2. 非正規雇用で働いている（非常勤職員、パート等を含む）

**VI. 在学当時の学習や活動についてお尋ねします。**

問13. あなたは以下の項目についてどの程度満足していましたか。

	満足だった	ある程度満足だった	やや不満だった	不満だった
<b>大学教育</b>				
専門基礎科目全般（解剖学・生理学・微生物学・薬剤療養学・栄養学・基礎保健学・疫学など）	4	3	2	1
専門科目全般（臨地実習を除く）	4	3	2	1
臨地実習科目全般	4	3	2	1
<b>学習・生活支援</b>				
授業以外で教員と接する機会	4	3	2	1
指導教員制度	4	3	2	1
図書館の施設や蔵書	4	3	2	1
情報処理関係施設や機器	4	3	2	1
学生の交流スペース	4	3	2	1
クラブ・サークル関係施設・設備等	4	3	2	1
自習室	4	3	2	1

問14. 以下に示すさまざまな能力は大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。

(専門教育全般)

	大学教育で				現在の仕事で			
	身についた	ある程度身についた	あまり身につけていない	身につけていない	必要	ある程度必要	あまり必要ない	必要ない
看護学の基礎知識	4	3	2	1	4	3	2	1
看護学の基本的技術	4	3	2	1	4	3	2	1
科学的分析力と探究能力	4	3	2	1	4	3	2	1
看護の視点から問題を総合的に分析・判断・解決する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
自己の実践を批判的に分析し、創造的に発展させる能力	4	3	2	1	4	3	2	1
患者・家族と人間関係を形成する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
医療職者間で協働・連携する能力	4	3	2	1	4	3	2	1
人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成	4	3	2	1	4	3	2	1
医療人に求められるモラルや礼儀	4	3	2	1	4	3	2	1
専門職業人として生涯自己研鑽する能力	4	3	2	1	4	3	2	1

問15.

国家資格の取得に必要な教育が行われていましたか。	行われていた 4	ある程度行われていた 3	あまり行われていなかった 2	行われていない 1
--------------------------	-------------	-----------------	-------------------	--------------

問16. 国家資格の取得に必要な教育・指導体制として、大学が今後取り入れたら良いと思う事柄について、ご記入下さい。

--

問17.

総合的にみて、本学医学部で学んだことについての満足度はどうですか。	満足している 4	ある程度満足している 3	やや不満だった 2	不満だった 1
-----------------------------------	-------------	-----------------	--------------	------------

ご協力大変ありがとうございました。

令和元年度実施 香川大学卒業生調査【工学部】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問4へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問4へお進みください。  
 3. 働いていない →問6へお進みください。

問4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

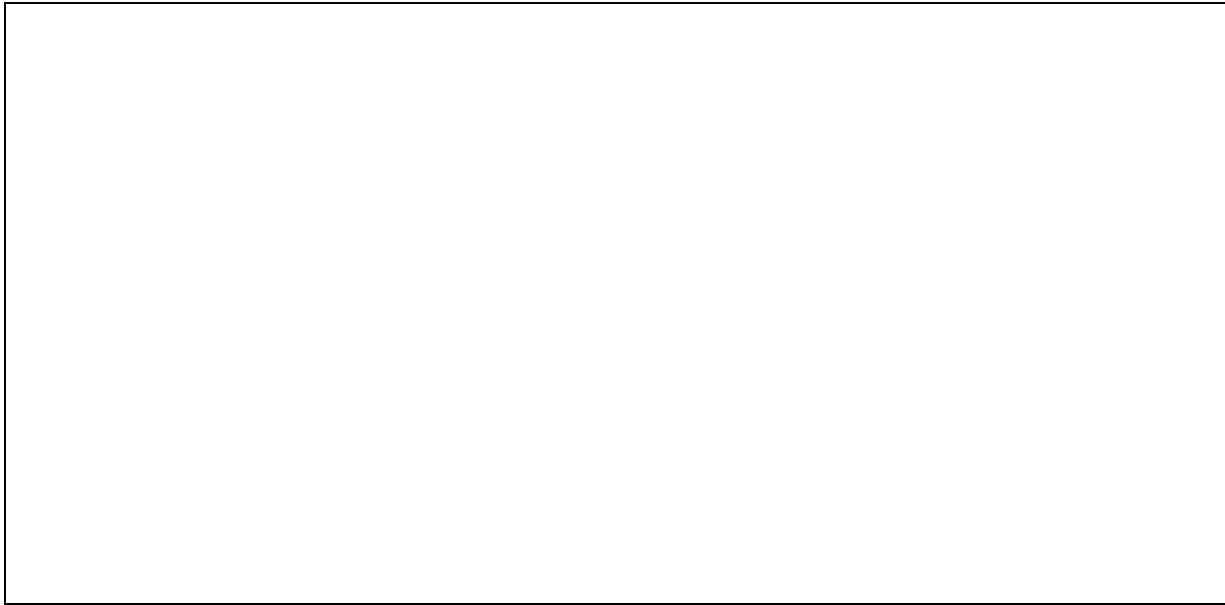
IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

## V. 専門教育についてお尋ねします。

問9. 以下に示すさまざまな能力や知識等については、香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかと言え ば身についた	どちらかと言え ば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>言語運用能力</b>						
論理的かつ客観的な文書を作成することができる力	4	3	2	1	2	1
多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる力	4	3	2	1	2	1
工学的な課題について、基礎的な数理法則を用いて分析することができる力	4	3	2	1	2	1
英語による情報収集能力、コミュニケーション能力	4	3	2	1	2	1
国際的視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
自然科学の基礎知識およびその基本原理の理解	4	3	2	1	2	1
工学的課題を解決するために必要な工学的基礎知識	4	3	2	1	2	1
人間、社会、環境についての多角的な視点	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
自主的、継続的に学習し、新たな課題を探求することができる力	4	3	2	1	2	1
専門分野において課題を認識し、その解決に向けて企画、立案し、遂行することができる力	4	3	2	1	2	1
多様な制約の下で、専門知識、技術を用いて、必要に応じ他者と協力して問題を解決することができる力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
市民としての社会的責任を自覚して行動することができる力	4	3	2	1	2	1
工学倫理に則って、技術者としての社会的役割を担うことができる力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解</b>						
地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探求することができる力	4	3	2	1	2	1

- 問10. 工学部のカリキュラムについて自由にご意見をお書き下さい。  
(工学部がもっと重視したほうが良いと思う教育内容や取り組みなど)



ご協力大変ありがとうございました。



令和元年度実施 香川大学卒業生調査【農学部】

I. あなた自身についてお尋ねします。

問1. あなたの出身学部・学科および入学年を記入してください。

( ) 学部 ( ) 学科 ( ) 課程 (講座) 等 西暦 ( ) 年入学

問2. あなたの性別をお答えください。

1. 男            2. 女

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問3. 現在の勤務先の就業形態についてお答えください。

1. 正規雇用で働いている →問4へお進みください。  
 2. 非正規雇用で働いている (派遣社員、アルバイト等を含む) →問4へお進みください。  
 3. 働いていない →問6へお進みください。

問4. 現在の勤務先の業種は以下のどれにあたりますか。

1. 農林・水産関係    2. 建設・機械関係    3. 食品・化学関係    4. 情報・通信関係  
 5. 商社・金融関係    6. 販売・サービス関係    7. マスコミ・出版関係  
 8. 保健・衛生・医療関係    9. 公務員 (国・地方自治体)    10. 教育関係    11. その他

問5. あなたは現在の職業に満足していますか。

1. 満足している    2. ある程度満足している    3. あまり満足していない    4. 満足していない

問6. 転職、あるいは離職の経験はありますか。

1. ある (転職・離職の時期: )  
 (理由: )  
 2. ないが数年のうちには転職、あるいは離職したい  
 (理由: )  
 3. ない

III. 大学教育とこれまでの職業経験との関係についてお尋ねします。

問7. あなたは大学在学中に以下のことがらにどの程度取り組んでいましたか。

	熱心に 取り組んだ	どちらかとい えば熱心に取 り組んだ	どちらかとい えば取り組ま なかった	取り組まなか った
授業 (授業時間中)	4	3	2	1
授業と関係ある学習 (予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など)	4	3	2	1
将来を見据えた学習 (資格取得 (国家試験を含む) に向けた学習など)	4	3	2	1
学生が行う主体的な活動 (夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など)	4	3	2	1
インターンシップ (体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む)	4	3	2	1
サークル・クラブ活動	4	3	2	1
アルバイト等の仕事経験	4	3	2	1

問 8. 以下に示すさまざまな能力は、大学教育を通じてどの程度身につきましたか。また、これまでの職業経験の中で役立っていますか。それぞれお答えください。

	身についた	どちらかといえば身についた	どちらかといえば身につかなかった	身につかなかった	役立っている	役立っていない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>						
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	2	1
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	2	1
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	2	1
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>						
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	2	1
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	2	1
<b>知識・理解</b>						
幅広い知識や教養	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	2	1
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	2	1
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	2	1
<b>問題解決・課題探求能力</b>						
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	2	1
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	2	1
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	2	1
<b>倫理観・社会的責任</b>						
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	2	1
社会のルールを守る力	4	3	2	1	2	1
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	2	1
<b>地域理解・国際理解</b>						
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	2	1
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	2	1
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	2	1
<b>自己教育の態度</b>						
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	2	1
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	2	1

IV. これまでの職業経験（社会生活含む）において、香川大学、あるいはあなたの出身学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

**V. 農学部での専門教育についてお尋ねします。**

問 9. あなたは在学中に以下の項目にどの程度充実（満足）していましたか。

	充実していた	ある程度充実していた	やや充実していなかった	充実していなかった
<b>専門教育</b>				
導入ならびに共通基礎科目	4	3	2	1
コース専門科目	4	3	2	1
共通展開科目	4	3	2	1
コース実験またはフィールド実習	4	3	2	1
課題研究	4	3	2	1
インターンシップ（該当者のみ）	4	3	2	1
<b>学習・生活支援</b>				
農学部教員との交流	4	3	2	1
農学部における友人との交流	4	3	2	1
農学部における学生相談窓口	4	3	2	1

問 10. 以下に示す農学部での学習や経験は、これまでの職業生活に役立っていますか。  
また、社会生活全般に役立っていますか。それぞれお答え下さい。

	これまでの職業生活に				社会生活全般に			
	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
<b>専門教育</b>								
導入ならびに共通基礎科目	4	3	2	1	4	3	2	1
コース専門科目	4	3	2	1	4	3	2	1
共通展開科目	4	3	2	1	4	3	2	1
コース実験またはフィールド実習	4	3	2	1	4	3	2	1
課題研究	4	3	2	1	4	3	2	1
インターンシップ（該当者のみ）	4	3	2	1	4	3	2	1
<b>学生生活</b>								
研究室での活動	4	3	2	1	4	3	2	1
就職活動	4	3	2	1	4	3	2	1
友人との交流	4	3	2	1	4	3	2	1

問 11. 受講して有益だったと考える農学部開講科目を最大三つまで挙げてください。

( )

( )

( )

問 1 2. 総合的にみて、農学部で学んだことについての満足度はどうですか。

4. 満足している
3. ある程度満足している
2. やや不満だった
1. 不満だった

問 1 3. 農学部の授業やカリキュラムについて自由にご意見をお書き下さい。

ご協力大変ありがとうございました。

## 香川大学卒業生についてのアンケート調査（企業・官庁等用）

問1. 貴組織の事業（主たるもの）についてお答えください。

- |              |               |                 |
|--------------|---------------|-----------------|
| 1. 農林・水産関係   | 2. 建設・機械関係    | 3. 食品・化学関係      |
| 4. 情報・通信関係   | 5. 商社・金融関係    | 6. 販売・サービス関係    |
| 7. マスコミ・出版関係 | 8. 保健・衛生・医療関係 | 9. 公務員（国・地方自治体） |
| 10. 教育関係     | 11. その他（      | ）               |

問2. 貴組織の従業員数についてお答えください。

- |                 |              |               |
|-----------------|--------------|---------------|
| 1. 10人未満        | 2. 10～100人未満 | 3. 100～500人未満 |
| 4. 500～1,000人未満 | 5. 1,000人以上  |               |

問3. 貴組織における直近4ヵ年の香川大学卒業生の採用数について、概数をお答えください。

- |         |           |            |          |
|---------|-----------|------------|----------|
| 1. 3人未満 | 2. 3～5人未満 | 3. 5～10人未満 | 4. 10人以上 |
|---------|-----------|------------|----------|

問4. 貴組織における直近4ヵ年の香川大学卒業生に対する満足度をお答えください。

- |       |           |         |       |
|-------|-----------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. ある程度満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|-----------|---------|-------|

問5. 香川大学卒業生は、現在担当している職務を遂行する上で必要とされる以下のような能力をどの程度身につけていますか（必要とされない能力は「必要とされない」をお選びください）。

	身につけている	どちらかといえば身につけている	どちらかといえば身につけていない	身につけていない	必要とされない
<b>論述作文能力・コミュニケーション能力</b>					
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	0
日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	0
相手の意見を丁寧に聴く力	4	3	2	1	0
日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	0
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力	4	3	2	1	0
特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力	4	3	2	1	0
特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力	4	3	2	1	0
特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	2	1	0
<b>情報リテラシー・数量的スキル</b>					
情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モデルに則って効果的に活用する力	4	3	2	1	0
様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力	4	3	2	1	0
<b>知識・理解</b>					
幅広い知識や教養	4	3	2	1	0
専門分野に関する基礎的な知識・理解	4	3	2	1	0
専門分野に関する知識・理解を応用する力	4	3	2	1	0
職業に関連する知識や技能	4	3	2	1	0

問題解決・課題探求能力					
目標を設定し確実に行動する力	4	3	2	1	0
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	4	3	2	1	0
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	4	3	2	1	0
倫理観・社会的責任					
社会のルール・マナーについて理解する力	4	3	2	1	0
社会のルールを守る力	4	3	2	1	0
社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力	4	3	2	1	0
地域理解					
地域に貢献したいという意識	4	3	2	1	0
地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力	4	3	2	1	0
多様な価値観を考慮し、異なる文化を理解する力	4	3	2	1	0
自己教育の態度					
物事に進んで取り組む力	4	3	2	1	0
自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力	4	3	2	1	0

問6. 香川大学に対するご意見やご要望等がございましたら、自由にお書きください。

## 第2章 調査結果について

### ＜卒業生によるアンケート調査＞

#### 1. 全学的な視点からの分析

##### (1) 分析結果

###### ①労働状況（問3、問5）・・・表1、表2参照

31（令和元）年度では、正規雇用で働いているが90%以上、現在の職業に満足しているが85%以上となり、過去2回の調査よりも上昇した。

###### ②大学教育を通じて身についた能力（問8-1）・・・図2、図3参照

31（令和元）年度で70%以上：「（日本語の）論述作文能力・コミュニケーション能力」（図2 ①～④）、「知識・理解」（図2 ⑪～⑭）、「問題解決・課題探究能力」（図3 ⑮～⑰）、「倫理観・社会的責任」（図3 ⑱～⑳）、「自己教育の態度」（図3 ㉔と㉕）

31（令和元）年度で値が比較的低い：「（外国語の）論述作文能力・コミュニケーション能力」（図2 ⑤～⑧・40%以下）

###### ③これまでの職業経験の中で役立った能力（問8-2）・・・図4、図5参照

31（令和元）年度で70%以上：「（日本語の）論述作文能力・コミュニケーション能力」（図4 ①～④）、「問題解決・課題探求能力」（図5 ⑮～⑰）、「自己教育の態度」（図5 ⑳と㉕）

31（令和元）年度で値が比較的低い：「（外国語の）論述作文能力・コミュニケーション能力」（図4 ⑤～⑧・約20%）、「地域理解」（図5 ㉑と㉒・約50%）

##### (2) 優れた点及び改善を要する点

###### 【優れた点】

現在の職業に対する満足度は、過去2回の調査から継続して高い。さらにこれまでと同様に、（日本語の）言語運用能力、問題解決・課題探求能力、倫理観・社会的責任については、大学教育で身につく、かつ、これまでの職業経験の中で役立っていると多くの卒業生が回答している。学士課程のディプロマ・ポリシー5つの構成要素のうち、3つについては卒業生から継続的に評価が得られているといえる。

###### 【改善を要する点】

大学教育を通じて身についた能力のうち、外国語の論述作文能力・コミュニケーション能力は、過去2回の調査時から継続して課題となっている。第三期中期計画では、英語に触れる機会や地域社会で留学生と日本人学生が協働して学ぶ機会を増加させることが明記されている。これらの機会を増加させることで、外国語の論述作文能力・コミュニケーション能力の育成をはかる必要がある。

【参考資料】

	31（令和元）年度	30年度	28年度
1. 正規雇用で働いている	90.2%	86.7%	85.4%
2. 非正規雇用で働いている	6.3%	8.5%	9.2%
3. 働いていない	3.3%	4.4%	4.5%

表 1. 現在の勤務先の就業形態

	31（令和元）年度	30年度	28年度
1. 満足している	36.8%	36.7%	36.0%
2. ある程度満足している	48.2%	44.6%	46.2%
3. あまり満足していない	9.5%	10.4%	10.8%
4. 満足していない	1.9%	3.8%	1.9%

表 2. 現在の職業の満足度

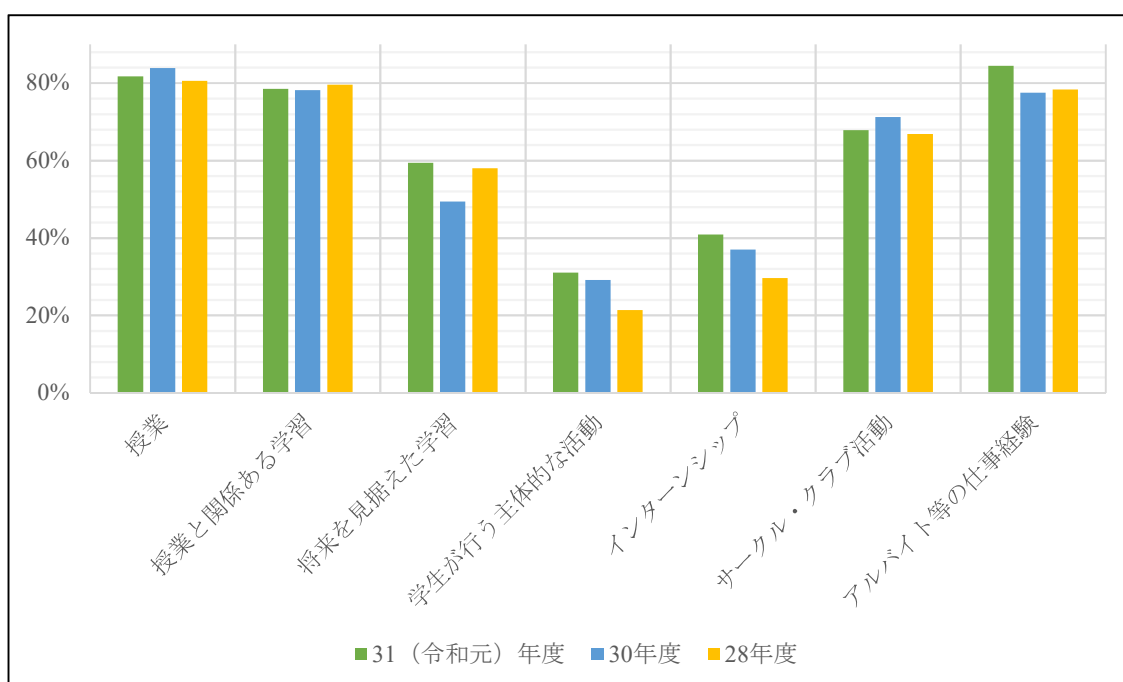


図 1. 在学中の取り組み

注 1：図 1 の具体的な内容は、次のとおりである。授業（授業時間中）、授業と関係ある学習（予習・復習、宿題・レポート、試験勉強など）、将来を見据えた学習（資格取得（国家試験を含む）に向けた学習など）、学生が行う主体的な活動（夢チャレンジプロジェクト、国際交流活動など）、インターンシップ（体験型、実践型、自主開拓などすべての形態を含む）、サークル・クラブ活動、アルバイト等の仕事経験

注 2：図 1 の値は、在学中の取り組みで「熱心に取り組んだ」「どちらかといえば熱心に取り組んだ」の合計値を示している。



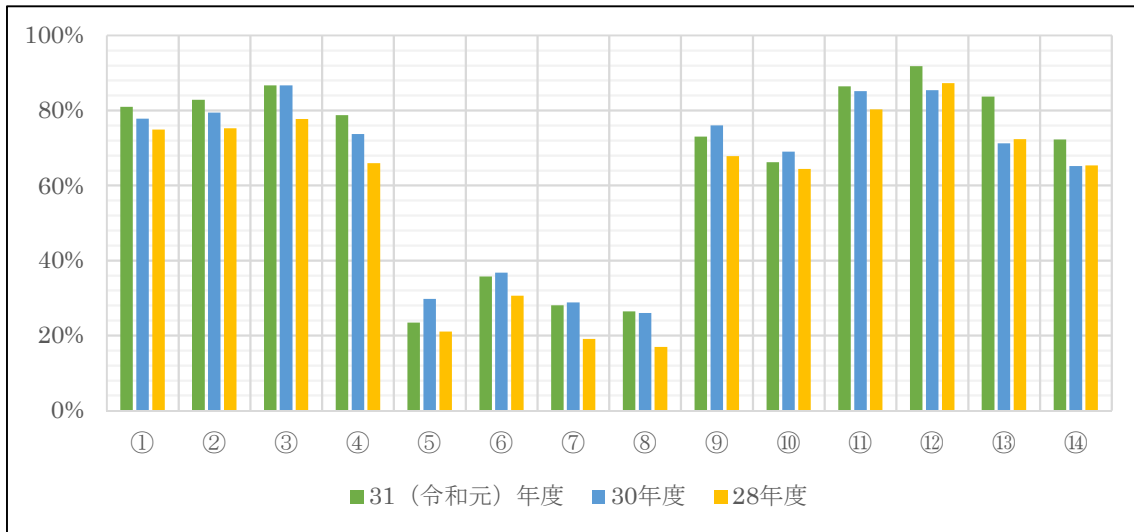


図 2. 大学教育で身についた能力 (①～⑭)

注 1：図 2 の各番号は、次のとおり対応している。①日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、②日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、③相手の意見を丁寧に聴く力、④日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑤特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、⑥特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、⑦特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力、⑧特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑨情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、⑩様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、⑪幅広い知識や教養、⑫専門分野に関する基礎的な知識・理解、⑬専門分野に関する知識・理解を応用する力、⑭職業に関連する知識や技能

注 2：図 2 の値は、大学教育で「身についた」「どちらかといえば身についた」の合計値を示している。

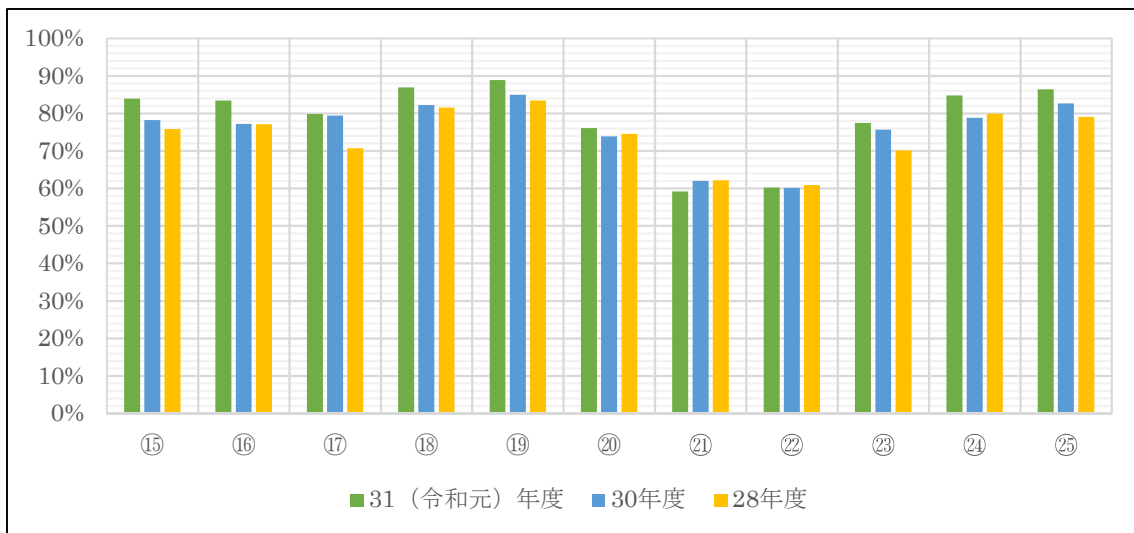


図 3. 大学教育で身についた能力 (⑮～㉕)

注 1：図 3 の各番号は次のとおり対応している。⑮目標を設定し確実に行動する力、⑯現状を分析し目的や課題を明らかにする力、⑰課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、⑱社会のルール・マナーについて理解する力、⑲社会のルールを守る力、⑳社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、㉑地域に貢献したいという意識、㉒地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、㉓多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、㉔物事に進んで取り組む力、㉕自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力

注 2：図 3 の値は、大学教育で「身についた」「どちらかといえば身についた」の合計値を示している。

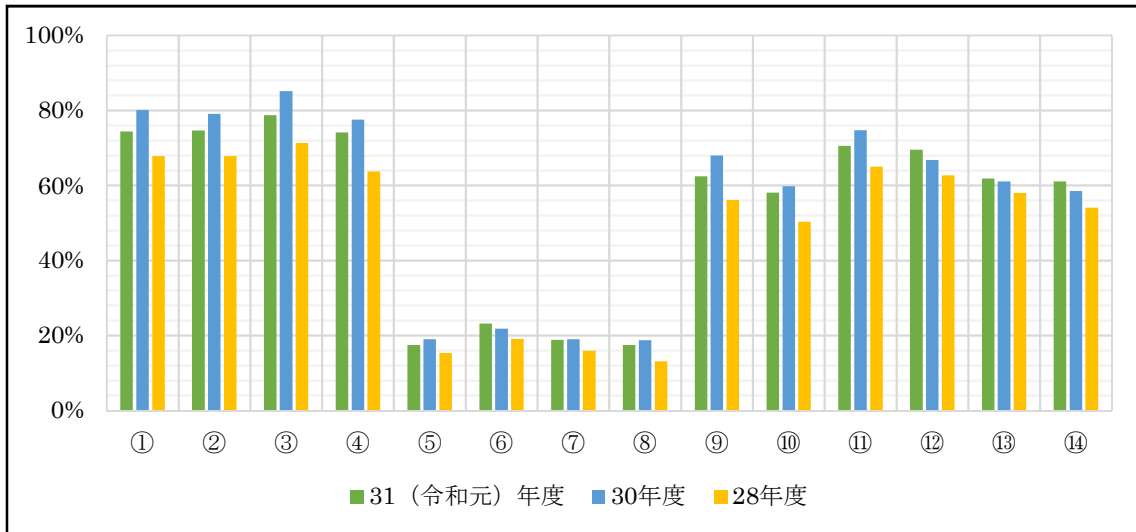


図 4. これまでの職業経験の中で役立つ能力 (①～⑭)

注 1：図 4 の各番号は次のとおり対応している。①日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、②日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、③相手の意見を丁寧に聴く力、④日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑤特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、⑥特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、⑦特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力、⑧特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑨情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、⑩様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、⑪幅広い知識や教養、⑫専門分野に関する基礎的な知識・理解、⑬専門分野に関する知識・理解を応用する力、⑭職業に関連する知識や技能

注 2：図 4 の値は、「役立っている」の値を示している。

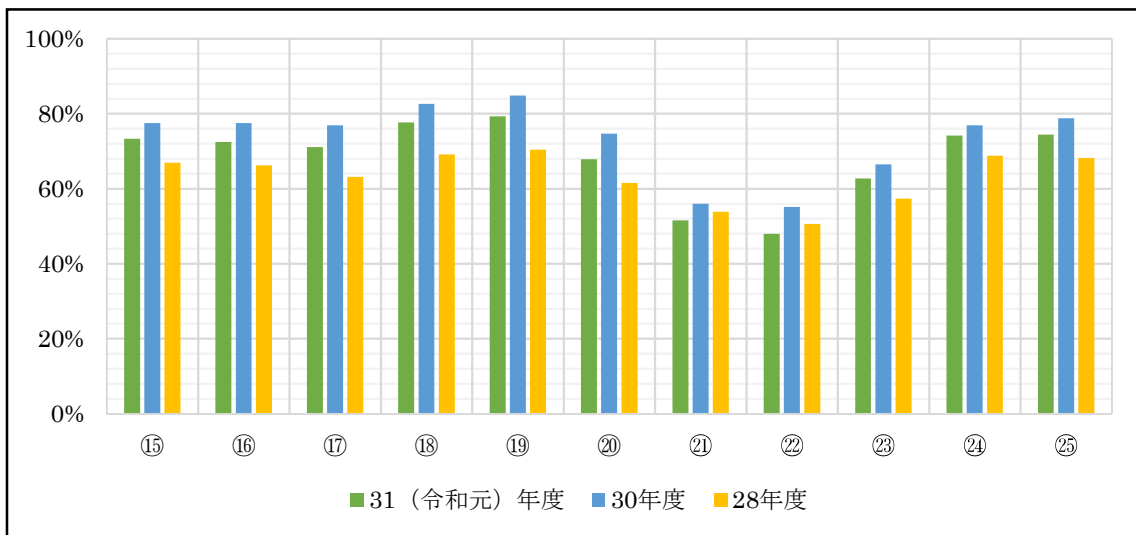


図 5. これまでの職業経験の中で役立つ能力 (⑮～㉕)

注 1：図 5 の各番号は次のとおり対応している。⑮目標を設定し確実に行動する力、⑯現状を分析し目的や課題を明らかにする力、⑰課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、⑱社会のルール・マナーについて理解する力、⑲社会のルールを守る力、⑳社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、㉑地域に貢献したいという意識、㉒地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、㉓多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、㉔物事に進んで取り組む力、㉕自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力

注 2：図 5 の値は、「役立っている」の値を示している。

## 2. 学部に関する分析

### 教育学部

#### (1) 分析結果

教育学部卒業生からの回答は、全 78 (学校教育教員養成課程 47、人間発達環境課程 31) (以後、教員養成、人間発達とする)と少数であったが、全般的な傾向を知ることができた。

- 1) 専門科目についての満足度を問う(問 9)において、「4.満足だった」「3.ある程度満足だった」の回答率は、教員養成が約 87~96%、人間発達が約 90~97%、「2.やや不満だった」「1.不満だった」は、教員養成が約 4~13%、人間発達が約 3~10%であった。なお、教員養成の回答では「1.不満だった」は 0 であった。
- 2) 同じく(問 9)の専門科目の“役立ち度”を問う「現在の仕事の中でどの程度、役立っていますか」において、教員養成の「学校教育基礎研究」と「学校教育実践研究」について「4.役立っている」「3.ある程度役立っている」の回答率は約 87%、「2.あまり役立っていない」「1.役立っていない」は約 13%であった。領域の専門科目及び卒業研究といえる「学校教育発展研究」については、同約 83%と約 17%であった。  
一方、人間発達の「基礎研究」と「実践研究」について「4.役立っている」「3.ある程度役立っている」の回答率は約 68%、「2.あまり役立っていない」「1.役立っていない」は約 32%であった。コースの専門科目といえる「発展研究」については、同約 63%と約 37%であった。
- 3) 「教員の教授方法」「教育実習など現場実習の充実」等についての満足度を問う(問 13)において、「4.満足していた」「3.ある程度満足していた」の回答率は、教員養成が約 83~96%、人間発達が 71~94%であった。また「2.やや不満だった」「1.不満だった」は、教員養成が約 4~17%、人間発達が約 6~29%であった。  
なお、教員養成の回答では“教員の教授方法”“教育実習など現場実習の充実”“少人数によるゼミ形式の授業”の 3 項目について「1.不満だった」は 0 であった。両課程に共通している点は、“少人数によるゼミ形式の授業”については満足度の高い結果が得られている一方で、教員養成の“講義室の学習環境”並びに“自学自習のための施設”、人間発達の“教員の教授方法”並びに“勉学や進路等の相談で教員と接する機会”については、満足度が低い結果となっている。
- 4) 総合的な満足度を問う(問 14)において、「4.満足している」「3.ある程度満足している」の回答率は、教員養成が約 98%、人間発達が約 87%であった。また「2.あまり満足していない」「1.満足していない」は、教員養成が約 2%、人間発達が約 13%であった。  
なお、両課程とも「1.満足していない」との回答は 0 であった。  
学部全体として集計を見ると、「満足」と「ある程度満足」の合計が 90%以上の高い値を示しており、2018(平成 30)年の前回調査の値を超える結果であった。依然として、高い満足度を示す回答者が多いことが明らかとなっている。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

### 【優れた点】

- 1) 先述したように、総合的な満足度で「満足」と「ある程度満足」の合計が90%以上の高い値を示している。また「満足していない」との回答は0である。
- 2) 専門科目の授業についても満足度は高く教員養成が約87~96%、人間発達が約90~97%である。ここでも教員養成の回答で「不満だった」は0であった。さらに、それらが仕事に役立っていることを「役立っている」「ある程度役立っている」が教員養成では約87%という高い値から見て取ることができる。

以上のことから、教育学部の卒業生は、とりわけ“教員の教授方法”“教育実習など現場実習の充実”“少人数によるゼミ形式の授業”の3項目について優れている授業に満足し、それらが仕事に役立つと感じていることから、総合的な満足度が高いということがうかがえる。

### 【改善を要する点】

- 1) 多くの項目において高い満足度が得られている中、“講義室の学習環境”の満足度が82-84%、“自学自習のための施設”の満足度が81-82%とやや低めの値となっている。現有の使用可能な資産を学生たちの学習環境の充実のために有効活用する手立てを探っていかなければならない。
- 2) 人間発達の「基礎研究」と「実践研究」が仕事に「役立っている」「ある程度役立っている」とした回答は約68%である。「発展研究」については、同約63%である。残された人間発達の学生のニーズに応えることができる内容について、今一度、点検することが必要であろう。
- 3) 教員養成という学部から無理のないことではあるが、自由記述から教員以外への進路を考えている学生への支援について一定のニーズがあることがうかがえる。これらのニーズについて柔軟に対応する手立てについて、今後の課題としてさらに検討を続けていかなければならない。

## 法学部

### (1) 分析結果

法学部の卒業生の回答者は、34名であった。以下、共通設問のうち法学部に特徴的な点と、学部項目の回答傾向について記述する。

#### ① 共通設問の分析

「学生が行う主体的な活動」や「サークル・クラブ活動」に熱心に取り組んだと回答した人の割合が、全学と比較すると15ポイント以上低くなっている（参考資料・図1参照）。また、日本語で自分の意見を文章にまとめる力が身についたとの回答は、全学より10ポイントほど高くなっているが、「情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、効果的に活用する力や、様々な現象を数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力については15ポイント以上、低くなっている（参考資料・図2参照）。

#### ② 学部項目の分析

法学部で学んだことへの満足度は高く、32%が「満足」、59%が「ある程度満足」と回答していた（問15）。授業内容やカリキュラムなど個別に見ても、「満足」「ある程度満足」との回答が90%前後となっている項目が多く、全般的に満足度は高い。特に、少人数ゼミについては、44%が「満足」と回答していた。他方で、教員と接する機会に「満足」「ある程度満足」と回答したとの回答は47%にとどまっている。（参考資料・図3参照）

法学部で提供している科目では、演習や公法系科目、民法法系科目が、職業生活上も社会生活上も（「ある程度」も含め）役立っているとの回答が特に多くなっていた。それに対し、国際系の科目が役立っているとの回答は（仕事上も社会生活上でも）32%であった（参考資料・図4参照）。なお、受講して有益だった科目としては、民法科目（50%）、憲法科目（26%）、刑法科目、行政法科目（いずれも21%）を挙げた回答者が多かった（問13）。

法学部の専門教育を通じて身についた知識や技能については、法律・法律学に関する知識や社会一般に関する知識や関心、幅広い視野が身についたとする回答が（「ある程度」も含めて）90%前後に達していた。また、情報を収集・処理する力や論理的に考える力、文書等を作成する技能なども80%を超える回答者が身についたとしている。一方で、歴史的視点や国際的視野が身についたとの回答は、それぞれ53%、41%であった（問11）。こうした知識や技能のうち、仕事上必要とされるとの回答が多かったのは、情報を収集・処理する力や問題を発見し解決する力、文書等を作成する技能、自主的に学び続ける力であった（いずれも「必要」との回答が71%であった）。（参考資料・図5参照）

### (2) 優れた点及び改善を要する点

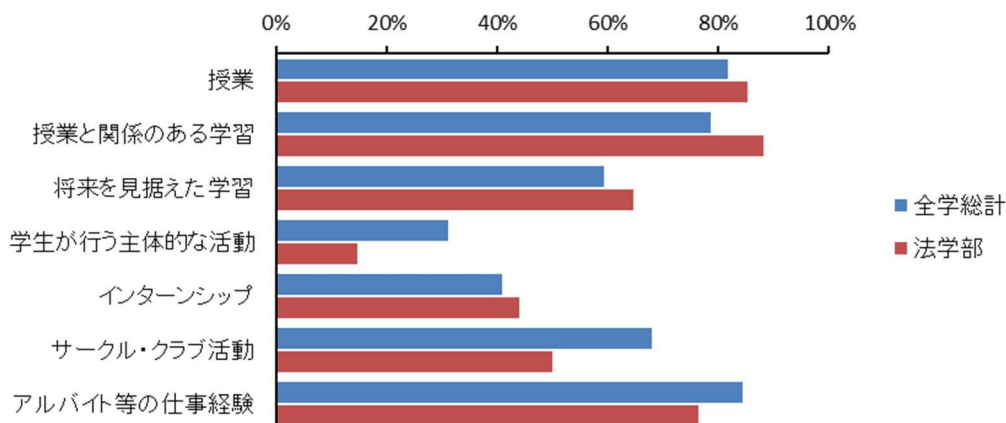
#### 【優れた点】

全般的に、在学中に受けた教育への満足度は高い。特に少人数教育に対する評価が高く、そこで学んだことを仕事や社会生活に役立てている。また、情報を収集・処理する力や論理的に考える力、文書等を作成する技能といった仕事や社会生活において必要性が高い能力が、学部教育を通じて身についたと考えられている。

### 【改善を要する点】

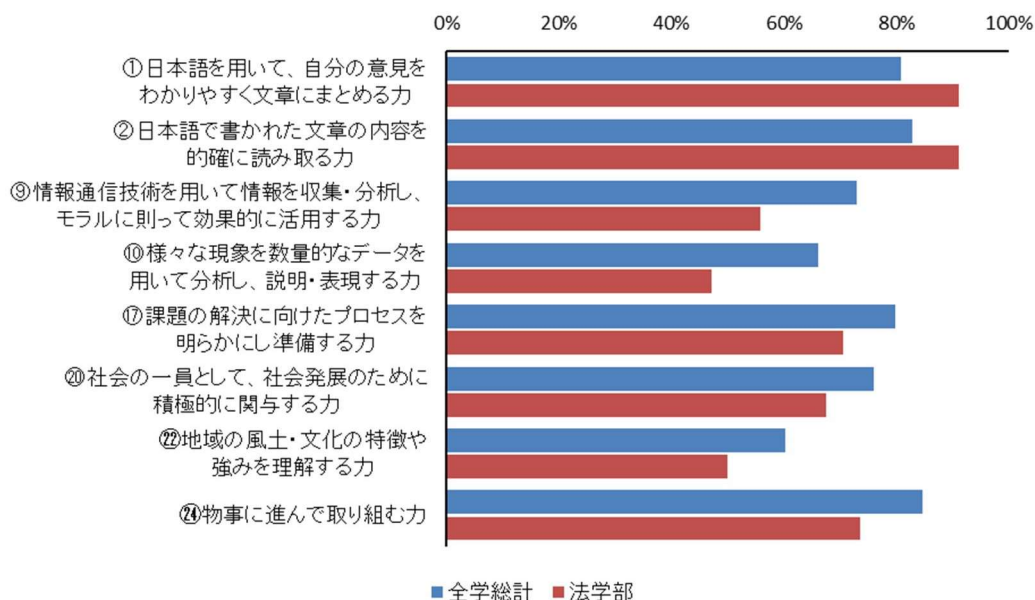
他学部の学生に比べると、情報通信技術を活用したり、数量的なデータを分析する力が身につけていないと認識されているようである。また、人前で報告する技能や自主的に学び続ける力が身についたと考えている回答者は、こうした能力の必要性が強く認識されていることに鑑みると、少ないと言わざるをえない。

### 【参考資料】



※ 値は「熱心に取り組んだ」「どちらかといえば熱心に取り組んだ」の合計

図1 在学中に熱心に取り組んでいた活動



※ 値は「身についた」「ある程度身についた」の合計

図2 大学教育を通じて身についた知識・能力 (抜粋)

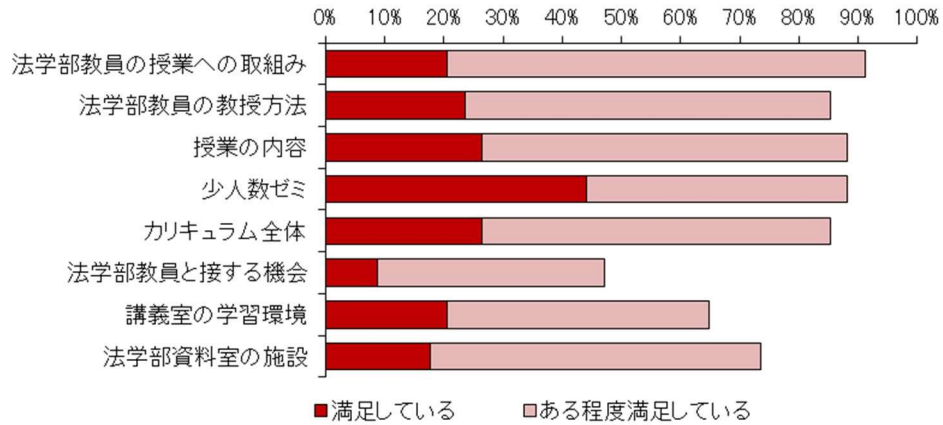
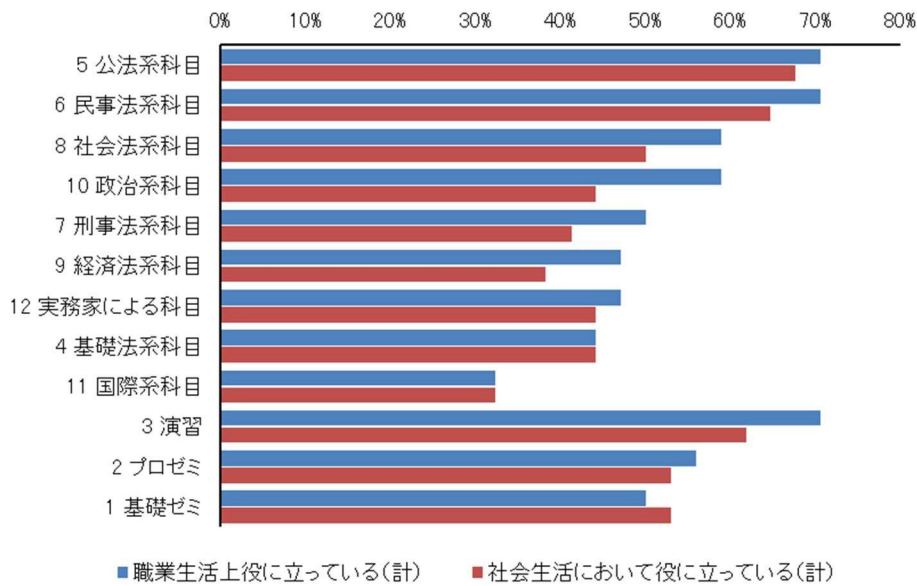
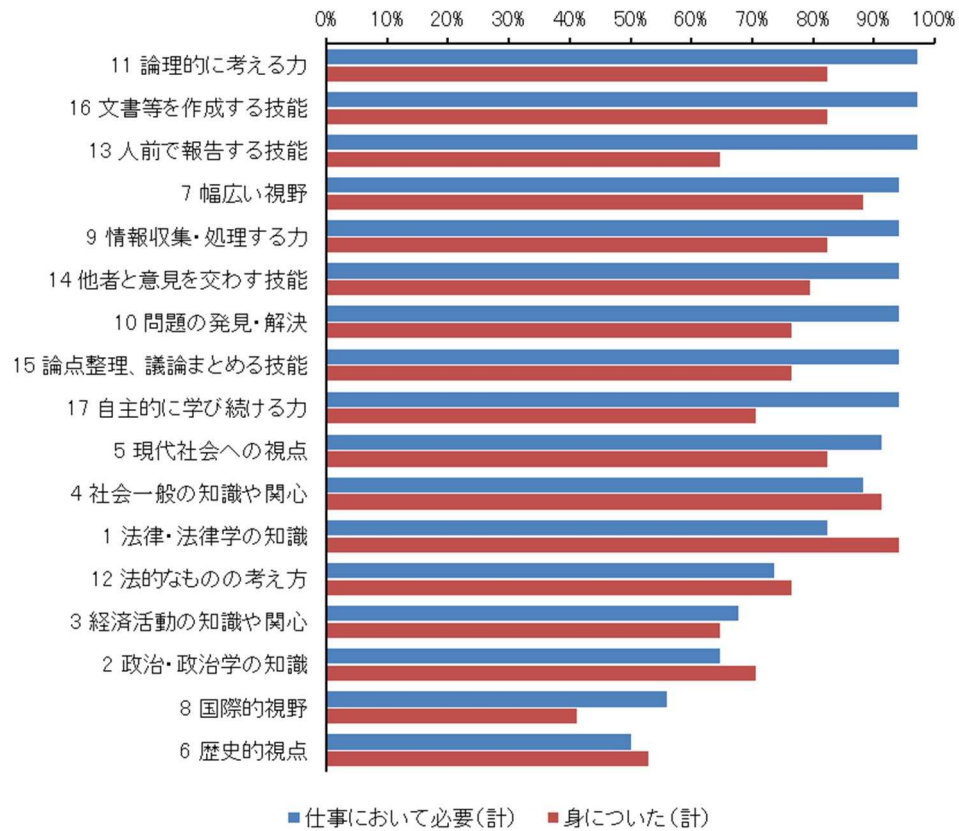


図3 授業や学習環境等への満足度



※ 値は「役立っている」「ある程度役立っている」の合計

図4 開講科目の職業生活上、社会生活上の役立ち度



※ 値は「必要」「ある程度必要」、「身についた」「ある程度身についた」の合計

図5 仕事において必要な知識・能力と専門教育を受けて身についた知識・能力



## 経済学部

### (1) 分析結果

#### ① 学科 (問 1)

- ・ 経済学科 19 人、経営システム学科 28 人、地域社会システム学科 14 人、計 61 人の卒業生から回答を得た。

#### ② 知識 (問 9-1 から問 9-10 まで)

- ・ 大学教育で「身についた」又は「どちらかと言えば身についた」と回答した割合は、「経済についての知識」が 83.6%と最も高く、「経営についての知識」と「地域の活性化についての知識」が 65.6%と次に高いのに対し、「世界各地域の経済についての知識」が 41.0%と最も低い。
- ・ 仕事で「役立っている」と回答した割合は、「経済についての知識」が 65.6%と最も高いのに対し、「統計についての知識」と「世界各地域の経済についての知識」が 29.5%と最も低い。

#### ③ データ分析能力 (問 9-11 と問 9-12)

- ・ 大学教育で「身についた」又は「どちらかと言えば身についた」と回答した割合は、定量的なデータ分析能力が 50.0%、定性的なデータ分析能力が 44.3%であり、いずれも十分な水準でない。
- ・ 仕事で「役立っている」と回答した割合は、定量的なデータ分析能力が 41.0%、定性的なデータ分析能力が 37.7%であり、いずれも十分な水準でない。

#### ④ 複眼的思考力等 (問 9-13 から問 9-16 まで)

- ・ 大学教育で「身についた」又は「どちらかと言えば身についた」と回答した割合は、「複眼的な思考力」が 39.3%、「チャレンジ精神や行動力」が 65.6%、「コミュニケーション力」が 68.9%、「課題探求・解決力」が 77.0%であり、「複眼的思考力」を除き、十分な水準である。
- ・ 仕事で「役立っている」と回答した割合は、「複眼的な思考力」が 67.2%、「チャレンジ精神や行動力」が 72.1%、「コミュニケーション力」が 78.7%、「課題探求・解決力」が 70.5%であり、いずれも十分な水準である。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

経済についての知識、課題探求・解決力、コミュニケーション力、チャレンジ精神や行動力を大学教育で十分に身につけ、それらを仕事で役立てている。また、経営についての知識や地域の活性化についての知識を大学教育で十分に身につけている。

#### 【改善を要する点】

大学教育で身につけた知識に偏りがある。また、定量的及び定性的なデータ分析能力が十分に身につけていない。今後は、履修する授業科目の偏りを小さくし、統計・調査に関する授業科目を総ての学生に履修させる必要がある。



## 医学部医学科

### (1) 分析結果

県内在住者の割合は入学時53.8% (21人) から現在43.6% (17人) に減少 (4人減) している。岡山県、兵庫県、京都府、大阪府にも各3名が在住しており、中国・近畿地区が多い傾向がみられる (問9)。但し、アンケートの回答数が39人しかなく、卒業生全体の動向を示しているとは言えないため実態の把握は難しい。アンケートの対象者が卒後3、4年目ということで後期研修期間中になり、87.2%が勤務医または研修医 (前期・後期) (問10)、94.9%が大学病院等の教育機関または病院に勤務している (問12)。

在学当時の医学部の教育についての満足度 (問13) について「満足」または「ある程度満足」と回答したものの割合は、問13A. シラバスの充実度に関しては69-80% (前回74-85% ; 前々回60-81%)、問13B. 教育法に関しては62-73% (前回82-93% ; 前々回54-70%)、問13C. 学習法については59-70% (前回70-89% ; 前々回58-70%)、問13D. カリキュラムについては67-74% (前回78-92% ; 前々回調査61-72%)、問13E. 評価法については62-77% (前回82-96% ; 前々回56-74%) であり、いずれも前回調査よりも「満足」または「ある程度満足」と回答した割合は減少しているものの前々回と同レベルである。科目により多少の差がみられるが、全体として満足度は高いと言えよう。医学部での学習・生活支援について、授業以外で教員と接する機会については、74% (前回85% ; 前々回86%) が「満足」または「ある程度満足」と回答している。また、指導教員制度や図書館、情報処理施設・機器、サークル設備、学生の交流スペース等についても62-74% (前回78-89%) が「満足」または「ある程度満足」と回答しており前回調査より低下している。自習室については「満足」または「ある程度満足」と回答している割合が49% (前回63% ; 前々回65%) と、他の項目に比べて満足度はやや低く、前回、前々回の調査よりさらに低下している (問13)。

在学中に身についた (「身についた」、「ある程度身についた」の割合が高い) 能力として、医学の基礎知識が95% (前回96% ; 前々回86%)、人間の尊厳が77% (前回96%)、モラルや礼儀、社会的責任は79% (前回90% ; 前々回79%)、自己研鑽能力74% (前回90% ; 前々回79%) などがある。前回の調査よりややポイントは低下し、前々回と近いポイントとなっている。「身についた」、「ある程度身についた」の割合が低いものは、実践の批判的分析と創造的に発展させる能力67% (前回67% ; 前々回61%)、科学的分析力と探求能力53.8% (前回63% ; 前々回63%)、協働・連携する能力69% (前回70% ; 前々回63%) があげられ、これは前回、前々回調査と同じ傾向である。全体を見れば、科学的分析力と探求能力を除き、いずれの事項も6割以上が身についたと自己評価している。今回のアンケートで尋ねた事項については、82-90% (前回92-96% ; 前々回84-86%) が現在の仕事の中では「必要」または「ある程度必要」と考えており、大学の設定する「身につけるべき事項」と卒業生の感覚のズレは少ない (問14)。前回調査に比べポイントがやや低下しているが、無回答者が5名 (12.8%) と多いためである。また、77% (前回96% ; 前々回90%) が、医師の国家資格取得のために必要な教育が「行われていた」または「ある程度行われていた」と考えており (問15)、本学の医学部で学んだことについては今回の

調査で87%（前回96%；前々回88%）が「満足」または「ある程度満足」と考えており、その満足度は高い（問17）。

## （2）優れた点及び改善を要する点

### 【優れた点】

本学で学んだことに対する総合的満足度は非常に高いと思われる。身についた能力に関しても、医学の基礎知識については90%以上のものが、人間の尊厳、モラルや礼儀、社会的責任、自己研鑽能力などで70%以上のものが「身についた」、「ある程度身についた」と感じている。

### 【改善を要する点】

学習・生活支援において自習室に対する満足度が低く、自習スペースの拡大などの改善が求められる。身についた能力で相対的に低いものは、実践の批判的分析と創造的に発展させる能力（「身についた」、「ある程度身についた」と感じているものが67%）、科学的分析力と探求能力（「身についた」、「ある程度身についた」と感じているものが54%）と相対的に低いため、医科学実習などで科学研究に実際に触れさせる機会を増やし、実習にルーブリック評価を導入するなど、改善に向けた取り組みを始めている。

## 医学部看護学科

### (1) 分析結果

県内在住者の割合は、入学時(66.7%)から現在(46.7%)に減少しているが、半数以上が県内で活躍している(問9)。現在の職種は看護師(73.3%)、保健師(6.7%)、養護教諭(10.0%)であり、90.0%が本学での取得資格で就業している(問10)。勤務場所は大学附属病院または病院(70.0%)、地方公共団体(6.7%)であり(問11)、ほとんど(96.7%)が正規雇用である(問12)。

在学当時の学習や活動の満足度について(問13)、大学教育では専門基礎科目、専門科目、臨地実習ともに、「満足」または「ある程度満足」が100%–96.7%であり、全体として満足度は高い。

学習・生活支援については、7割以上の学生が「満足」または「ある程度満足」と感じている。特に、図書館の施設や蔵書が86.7%と最も高く、学生の交流スペースとクラブ・サークル関係施設・設備が80.0%である。一方、「やや不満」「不満」は自習室の30.0%が最も多かった。

在学中に「身についた」または「ある程度身についた」能力としてあげられるものは、看護学の基礎知識(93.3%)、医療人に求められるモラルや礼儀(93.3%)、人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成(93.3%)が高く、次に専門職業人として生涯自己研鑽する能力(90.0%)、看護の視点から問題を総合的に分析・判断・解決する能力(90.0%)である。身についた割合が低いものは科学的分析力と探究能力(76.6%)である。全ての項目について、7割以上が身についたと自己評価している。一方、現在の仕事の中では全ての項目について76.6–83.4%が「必要」または「ある程度必要」と考えており、大学の設定する「身につけるべき事項」と卒業生の評価は一致している(問14)。また、国家資格取得に必要な教育では、「行われていた」または「ある程度行われていた」が90.0%である(問15)。本学医学部で学んだことについては、93.3%が「満足」または「ある程度満足」と考えており、その総合的な満足度は非常に高い(問17)。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

医学部看護学科で学んだことに対する満足度は全体として非常に高い。特に看護の基礎知識と看護の視点から、問題を総合的に分析・判断・解決する能力によって培われた、人間の尊厳・人権を尊重する態度の形成や医療人に求められるモラルや礼儀は、専門職業人としての資質と態度醸成が確実に身につけていることで高く評価できると考える。

#### 【改善を要する点】

学習・生活支援において自習室に対する満足度が低く、自習スペースの拡大などの改善が求められる。

## 創造工学部（工学部）

### （1）分析結果

工学部卒業生のアンケート回答人数は 71 名であり、内訳は安全システム建設工学科 14 名、信頼性情報システム工学科（電子・情報工学科）23 名、知能機械システム工学科 16 名、材料創造工学科 18 名である。2009～2013 年度入学学生からの回答を得た。

言語運用能力（参考資料：表 1）について、「論理的かつ客観的な文書を作成することができる力」、「多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる力」は肯定回答（「身についた」と「どちらかと言えば身についた」）が 80%を超えた。また、「工学的な課題について、基礎的な数理法則を用いて分析することができる力」も 70%を超える肯定回答となった。一方、「英語による情報収集能力、コミュニケーション能力」、「国際的視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる力」の肯定回答は 50%以下となった。

知識・理解（参考資料：表 2）について、「工学的課題を解決するために必要な工学的基礎知識」は 85%以上、「自然科学の基礎知識およびその基本原理の理解」と「人間、社会、環境についての多角的な視点」は 70%以上の肯定回答である。

問題解決・課題探究能力（参考資料：表 3）について、80%前後の肯定回答である。

倫理観・社会的責任（参考資料：表 4）について、「工学倫理に則って、技術者としての社会的役割を担うことができる力」は 80%以上の肯定回答だが、「市民としての社会的責任を自覚して行動することができる力」は 70%以下となった。

地域理解（参考資料：表 5）について、「地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探究することができる力」は 60%以下の肯定回答である。

上記の能力や知識等について、職業経験の中で役立っているかという設問でも肯定回答（「役立っている」）は同様な傾向が見られ、おおむね 60%以上の肯定回答となっている。

### （2）優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

工学の重要知識・技能である「論理的かつ客観的な文書を作成することができる力」、「多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる力」、「工学的課題を解決するために必要な工学的基礎知識」、「工学倫理に則って、技術者としての社会的役割を担うことができる力」は十分獲得できて、役に立っていると認識されている。

#### 【改善を要する点】

「英語による情報収集能力、コミュニケーション能力」、「国際的視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる力」、「市民としての社会的責任を自覚して行動することができる力」、「地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探究することができる力」など人材としての多様性につながる知識・技能の教育について重点を置いた教育が必要と考える。

【参考資料】

表1 言語運用能力：香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身に付きましたか。

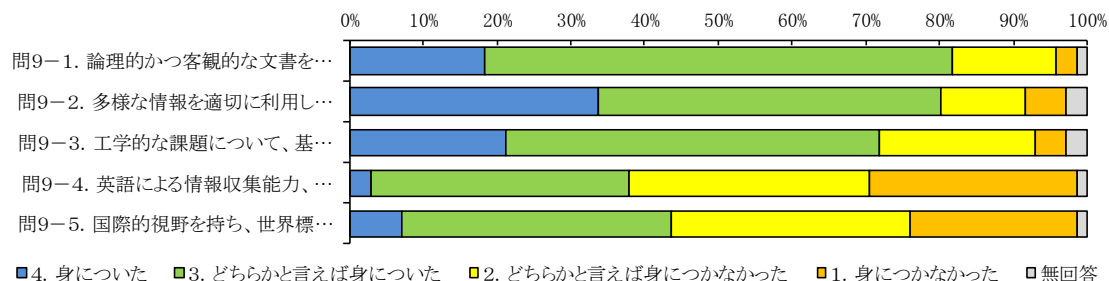


表2 知識・理解：香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身に付きましたか。

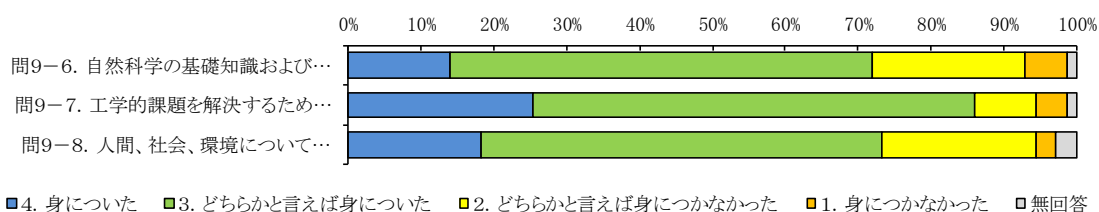


表3 問題解決・課題探究能力：香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身に付きましたか。

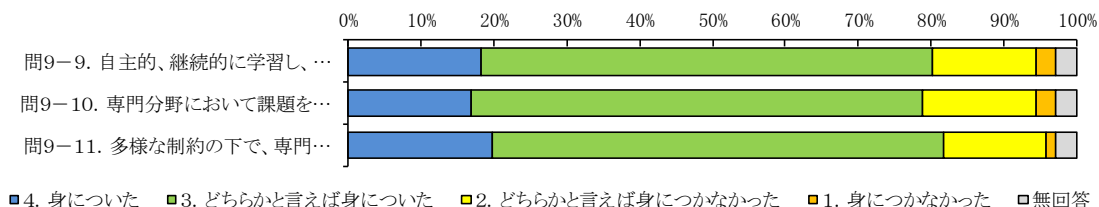


表4 倫理観・社会的責任：香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身に付きましたか。

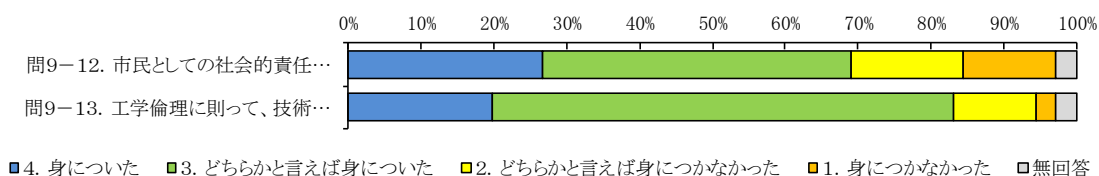
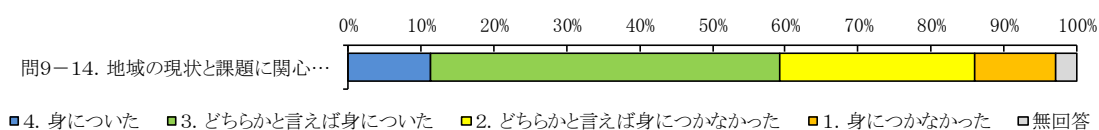


表5 地域理解：香川大学工学部の専門教育を通じてどの程度身に付きましたか。



## 農学部

### (1) 分析結果

#### ①農学部の教育で身についた能力（問8）：図1、2参照

日本語の「読解作文能力・コミュニケーション能力」はR1年度において上昇したものが多く、すべて80%以上を示している。また「専門分野に関する基礎的な知識・理解」は特に高い。「問題解決・課題探求能力」、「自己教育の態度」は比較的上昇している。外国語の「読解作文能力・コミュニケーション能力」は前年度と比較して上昇しているが値が低い。「地域理解」の値が低い。

#### ②専門教育と学習・生活支援の満足度（問9）：図3参照

専門教育の満足度については、すべての科目で前年度より増加している。各項目において80%以上と高い。学習・生活支援の満足度は、「農学部における友人との交流」が最も高い（70%以上）。一方、「農学部における学生相談窓口」は値が低い。

#### ③職業生活に対する専門教育と学生生活の役立ち度（問10）：図4参照

専門教育の役立ち度については、R1年度で比較的增加しているのは「課題研究」、比較的減少しているのは「導入ならびに共通基礎科目」、「共通展開科目」である。「コース実験またはフィールド実習」、「コース専門科目」は前年度とほぼ同じ。学生生活の役立ち度については、「研究室での活動」、「就職活動」、「友人との交流」ともにR1年度で増加しており80%を超えていた。

#### ④社会生活全般に対する専門教育と学生生活の役立ち度（問10）：図5参照

専門教育の役立ち度については、R1年度で比較的增加しているのは「導入ならびに共通基礎科目」、「コース実験またはフィールド実習」および「課題研究」である。他の科目はほぼ同じである。学生生活の役立ち度については、「研究室での活動」、「就職活動」、「友人との交流」ともにR1年度で増加しており80%を超えていた。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

専門教育の職業生活や社会生活全般に対する役立ち度として「課題研究」が比較的高い値となっている。また農学部の教育で身についた能力として、「問題解決・課題探求能力」、「自己教育の態度」が増加しており、これらを身につけるにあたって課題研究活動の効果が期待できる。また学生生活の役立ち度として、社会生活全般や職業生活に対して「研究室での活動」が高い値になっている。研究室での活動も課題研究と深く関わっており、課題研究活動が卒業後も重要な効果を持つと考えられる。

#### 【改善を要する点】

学習・生活支援において引き続き「農学部における学生相談窓口」の満足度を高めることが課題である。また外国語の「論述作文能力・コミュニケーション能力」および「地域理解」については増加が求められる。



【参考資料】

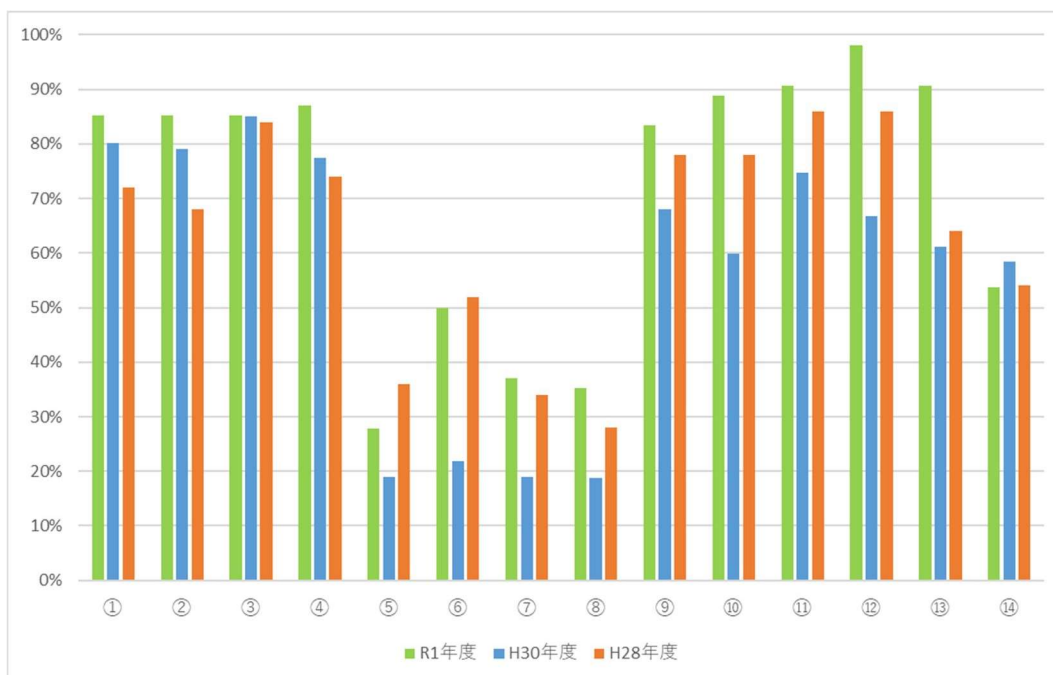


図1 農学部の教育で身についた能力（1～14）

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1：日本語を用いて自分の意見を分かりやすくまとめる力、2：日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、3：相手の意見を丁寧に聴く力、4：日本語を用いて自分の意見を分かりやすく伝える力、5：特定の、外国語を用いて、自分の意見を分かりやすく文章にまとめる力、6：特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、7：特定の外国語を用いて相手の意見を聞き取る力、8：特定の外国語を用いて、自分の意見を分かりやすく伝える力、9：情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、10：様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、11：幅広い知識や教養、12：専門分野に関する基礎的な知識、理解、13：専門分野に関する知識、理解を応用する力、14：職業に関係する知識や技能。

注2) グラフは「身についた」「どちらかといえば身についた」の合計値を示している。

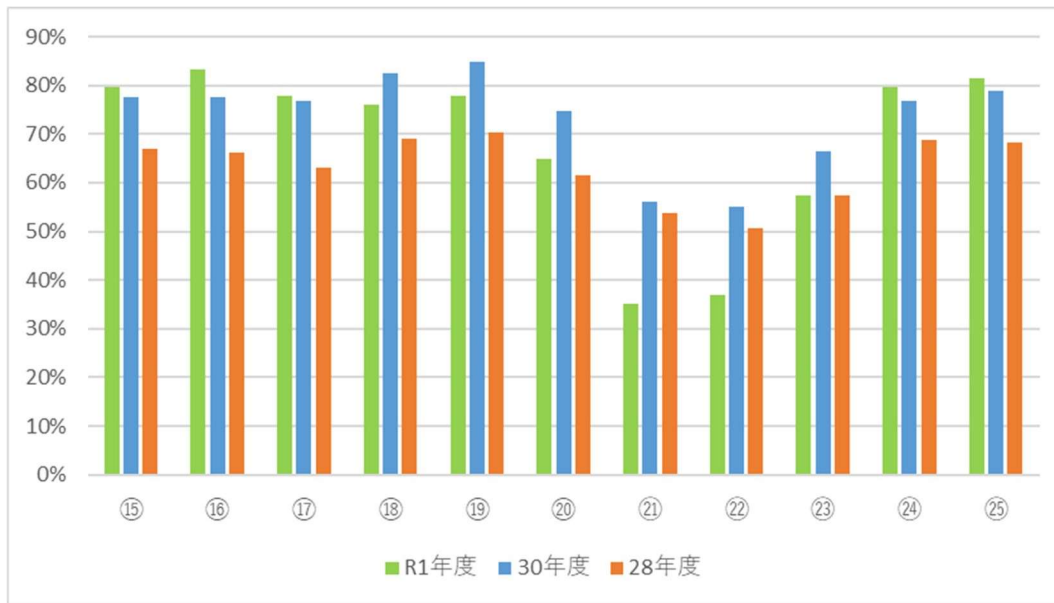


図2 農学部の教育で身についた能力 (15~25)

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

15:目標を設定し、確実に行動する力、16:現状を分析し、目的や仮題を明らかにする力、17:課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、18:社会のルール・マナーについて理解する力、19:社会のルールを守る力、20:社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、21:地域に貢献したいという意識、22:地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、23:多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、24:物事に進んで取り組む力、25:自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力。

注2) グラフは「身についた」「どちらかといえば身についた」の合計値を示している。

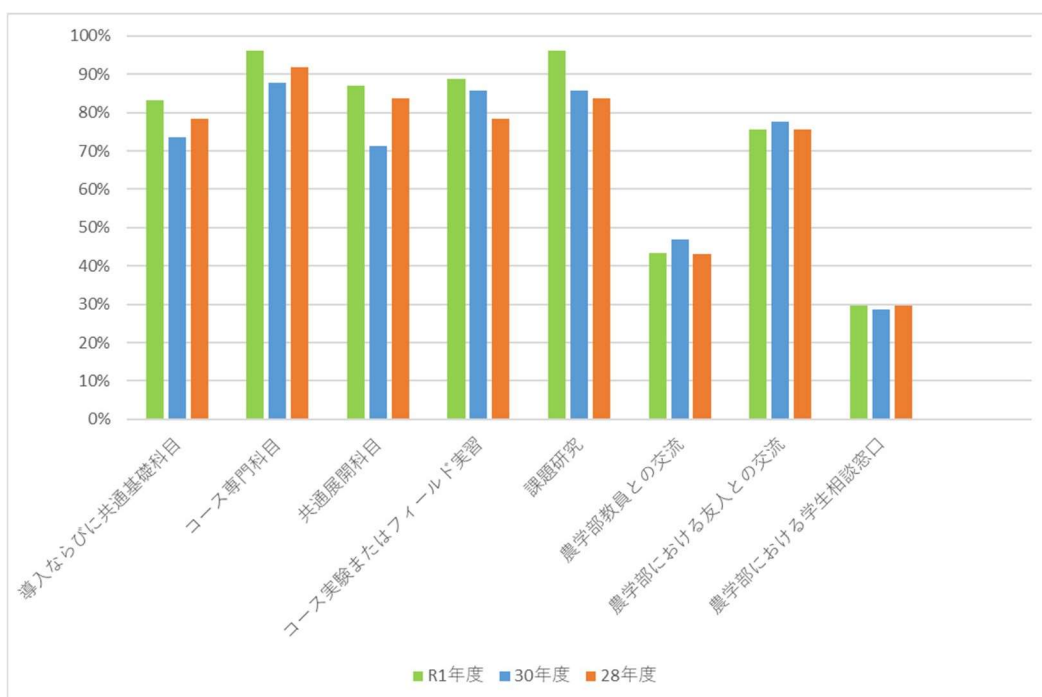


図3 専門教育と学習・生活支援の満足度

注1) グラフは「充実していた」 + 「ある程度充実していた」の合計値を示している。

注2) インターンシップは回答数が少なかったため省いた。

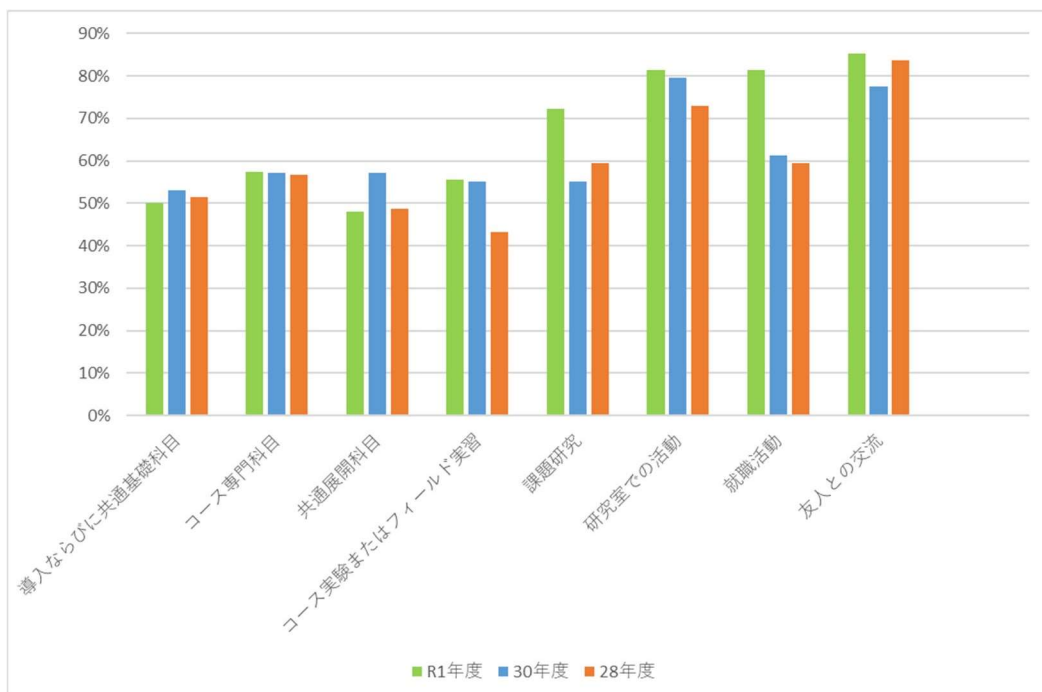


図4 職業生活に対する専門教育と学生生活の役立ち度

注1) グラフは「役立っている」 + 「ある程度役立っている」の合計値を示している。

注2) インターンシップは回答数が少なかったため省いた。

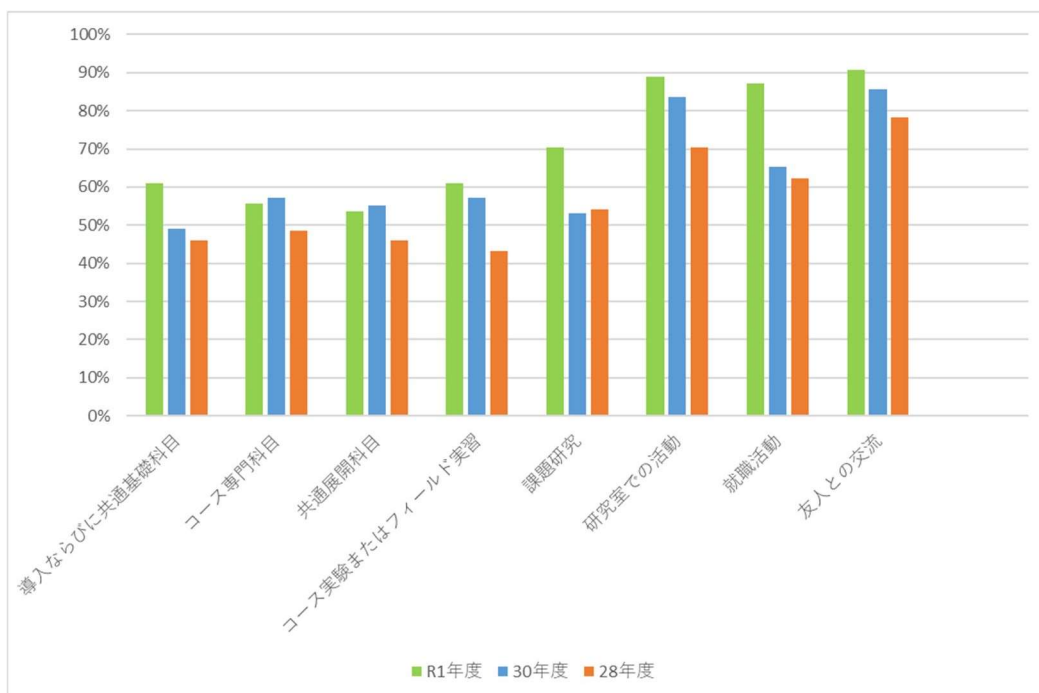


図5 社会生活全般に対する専門教育と学生生活の役立ち度

注1) グラフは「役立っている」 + 「ある程度役立っている」の合計値を示している。

注2) インターンシップは回答数が少なかったため省いた。

## <企業等アンケート調査>

### 1. 全学的な視点からの分析

#### (1) 分析結果

##### ①企業等の卒業生に対する満足度・・・表1参照

「満足」と「ある程度満足」の数値を合わせると3年度とも90%以上

##### ②職務遂行上での卒業生の能力に対する企業等からの評価・・・図1、2参照

すべての能力において、30年度と28年度よりも値が高くなっている。具体的にみていくと、「(日本語の) 論述作文能力・コミュニケーション能力」(図1 ①～④)、「情報リテラシー・数量的スキル」(図1 ⑨～⑩)、「知識・理解」(図1 ⑪と⑫)、「問題解決・課題探求能力」(図2 ⑮～⑰)、「倫理観・社会的責任」(図2 倫理観・社会的責任)、「地域理解」(図2 ⑳～㉓)、「自己教育の態度」(図2 ㉔と㉕)の能力に対する評価は90%以上であった。ただし、「(外国語の) 論述作文能力・コミュニケーション能力」(図1 ⑤～⑧)に対する評価は60%前後である(職務遂行上で必要とされない能力だと回答した企業は約60%)。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

卒業生に対する企業等の満足度は増加傾向にある。また、日本語の論述作文能力・コミュニケーション能力、情報リテラシー・数量的スキル、知識・理解、問題解決・課題探求能力、倫理観・社会的責任、地域理解、自己教育の態度に関する能力に対する企業等からの評価は概ね高く、増加傾向にある。すなわちこれは、本学のディプロマポリシーを構成する5つの要素(言語運用能力、知識・理解(21世紀型市民及び学士として)、問題解決・課題探求能力、倫理観・社会的責任、地域理解)の大部分に対して企業等から高い評価を得られているということである。

##### 【改善を要する点】

外国語の論述作文能力・コミュニケーション能力に対する評価は、相対的に低い傾向が続いている。ただし、この結果を解釈するには留意が必要だろう。そもそも、当該能力を必要としない企業は約60%にのぼる。残りの約40%の企業の要求に十分に答えられていないからといって深刻になりすぎる必要はないのかもしれない。他方、グローバル化している現代社会を生きていくうえで、外国語の論述作文能力・コミュニケーション能力は軽視できない能力でもある。本学においても「国際的に活動できる人材育成」を目標のひとつとして掲げている。協定大学とのネットワークを活かした多言語プログラムや多様な留学コースを設置し単位化したり、留学生や研究者を受け入れたりするといったグローバル人材の育成に向けたプログラム化を継続して展開していくことが求められる。

【参考資料】

	31（令和元）年度	30年度	28年度
満足	61.9%	57.1%	49.1%
ある程度満足	34.2%	36.0%	43.8%
やや不満	2.3%	5.0%	4.0%
不満	1.3%	1.9%	0.0%

表 1. 企業等の卒業生に対する満足度

注 1：28年度は上記に加えて、「記入なし」が 3.1%であった。

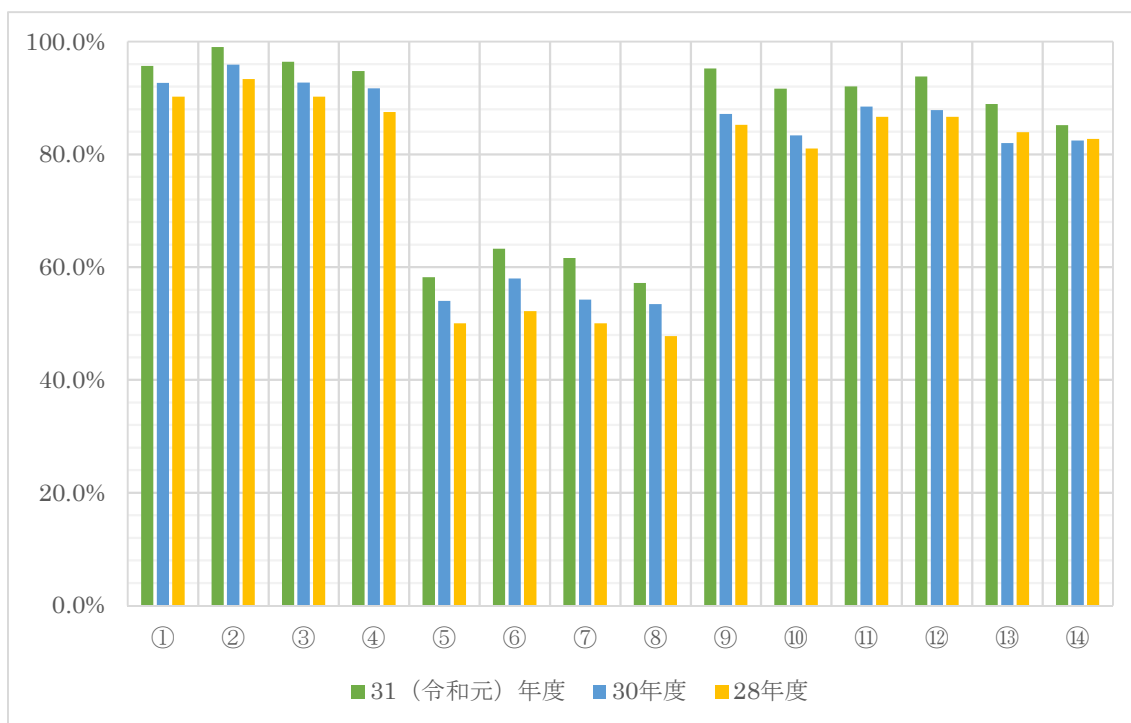


図 1. 職務遂行上での卒業生の能力に対する企業等からの評価 (①～⑭)

注 1：図 1 の各番号は次のとおり対応している。①日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、②日本語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、③相手の意見を丁寧に聴く力、④日本語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑤特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく文章にまとめる力、⑥特定の外国語で書かれた文章の内容を的確に読み取る力、⑦特定の外国語を用いた相手の意見を聞き取る力、⑧特定の外国語を用いて、自分の意見をわかりやすく伝える力、⑨情報通信技術を用いて情報を収集・分析し、モラルに則って効果的に活用する力、⑩様々な現象を、数量的なデータを用いて分析し、説明・表現する力、⑪幅広い知識や教養、⑫専門分野に関する基礎的な知識・理解、⑬専門分野に関する知識・理解を応用する力、⑭職業に関連する知識や技能。

注 2：図 2 の値は、企業等からの評価の「身につけている」「どちらかといえば身につけている」の合計値である。ただし、それぞれの能力に対して「必要とされない」と回答した企業を除いている。ちなみに、⑤～⑧は「必要とされない」と回答した企業等が約 60%であったが、他の能力に対しては大半が数パーセントであった。

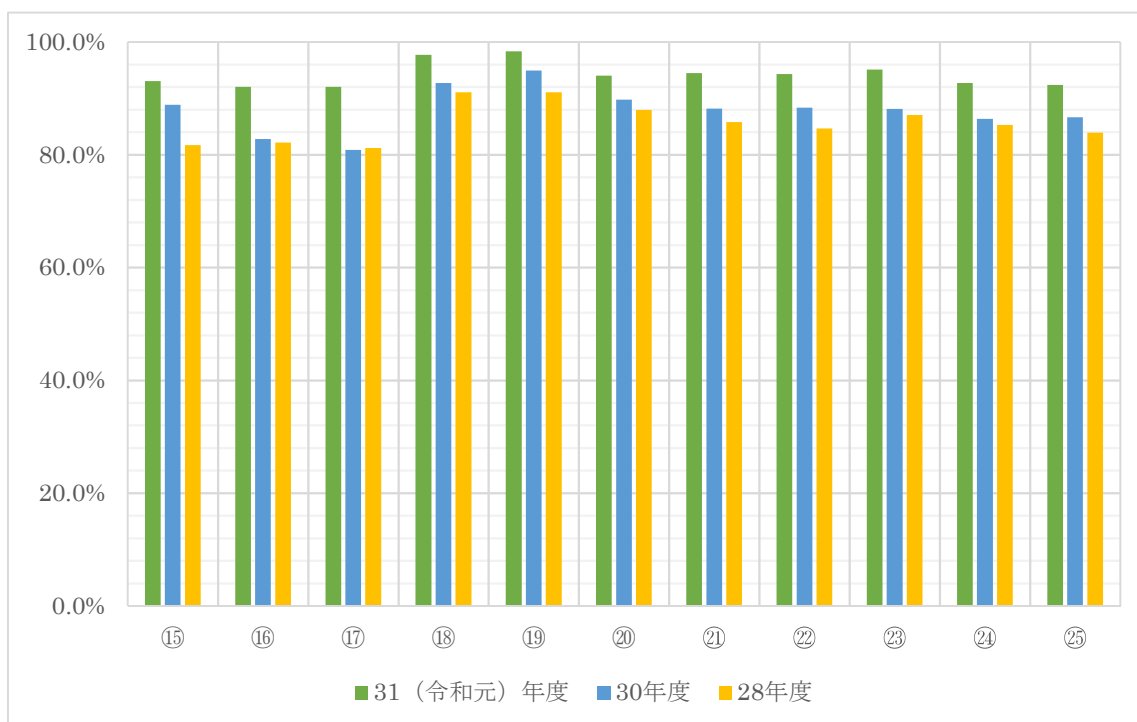


図 2. 職務遂行上での卒業生の能力に対する企業等からの評価 (⑮～㉕)

注 1：図 2 の各番号は次のとおり対応している。⑮目標を設定し確実に行動する力、⑯現状を分析し目的や課題を明らかにする力、⑰課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力、⑱社会のルール・マナーについて理解する力、⑲社会のルールを守る力、⑳社会の一員として、社会発展のために積極的に関与する力、㉑地域に貢献したいという意識、㉒地域の風土・文化の特徴や強みを理解する力、㉓多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力、㉔物事に進んで取り組む力、㉕自ら考え、学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶ力

注 2：図 2 の値は、企業等からの評価の「身につけている」「どちらかといえば身につけている」の合計値である。ただし、それぞれの能力に対して「必要とされない」と回答した企業を除いている。ちなみに、⑤～⑧は「必要とされない」と回答した企業等が約 60%であったが、他の能力に対しては大半が数パーセントであった。